

DATE: _____

ゆめづくり事例集
2016

編集：呉市

まちづくり活動に積極的に取り組まれている地域の皆さんの活動状況をまとめた「ゆめづくり事例集」。2012年から始まり、今回、5冊目の2016をお届けします。

それぞれのまちづくり委員会等において、特色ある資源を活かした地域の活性化や、地域の皆さんが抱える課題の解決に向けて、何をしたらいいか、また、どのように工夫すればいいかなど、地域の皆さん自身が考え、行動されている様子を紹介しています。

地域の皆さんの手で育まれ、さらに地域の絆が強まるとともに、より一層、様々な広がりを見せているこれらの事例をご覧いただき、自分たちの取組と比べてみたり、新しい取組を考える際のヒントにしたりと、大いに活用していただければと思います。





ゆめづくり事例集2016 目次

No	事業名	団体名
1	第15回 みずとひ祭り	第2地区まちづくり委員会
2	ふれあい朝市	第2地区まちづくり委員会
3	バケツ稲栽培事業	第2地区まちづくり委員会
4	Good-bye2016昔遊び・餅つき交流フェスタ	第2地区まちづくり委員会
5	第3地区冬まつり	第3地区まちづくり委員会
6	盆踊り大会（参加促進支援事業）	第4地区まちづくり委員会
7	長迫公園（旧海軍墓地）清掃	第4地区まちづくり委員会
8	防犯パトロール大会	第4地区まちづくり委員会
9	区域内防災訓練と防災備品整備	第5地区まちづくり委員会
10	呉市の歴史と文化を訪ねて日倉橋町～研修バスツアー	第5地区まちづくり委員会
11	わくわく子育てサロン	第5地区まちづくり委員会
12	第6地区夏まつり	第6地区まちづくり委員会
13	第6地区敬老会	第6地区まちづくり委員会
14	災害時協定の締結・総合防災訓練	第6地区まちづくり委員会
15	第7回 くれ中央夏まつり（くれ絆盆踊り大会）	くれ中央地区まちづくり委員会
16	第7回 まるごと・中央地区ウォーキング大会	くれ中央地区まちづくり委員会
17	荘山田小学校地域合同防災訓練	第5地区、くれ中央地区まちづくり委員会
18	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区 合同敬老会	第2地区・第3地区・第5地区☐中央地区社会福祉協議会
19	ふれあいまつり（夏まつり・盆踊り）	第8地区まちづくり委員会
20	とんど祭り	第8地区まちづくり委員会
21	ふれあい広場三条運営事業	三条地区まちづくり委員会
22	八畳岩登山（登山道整備、登山）	三条地区まちづくり委員会
23	川原石地区盆踊り大会	川原石地区まちづくり委員会
24	川原石地区合同防災訓練	川原石地区まちづくり委員会
25	川原石地区敬老会	川原石地区まちづくり委員会

No	事業名	団体名
26	中央地域成人式	中央地域成人式実行委員会
27	第26回 詩歌創作大会	吉浦まちづくり委員会
28	第11回 吉浦地区防災訓練	吉浦まちづくり委員会
29	よし浦まちづくり発見隊 お好み焼き再発見	吉浦まちづくり委員会
30	第20回 警固屋さくら祭	警固屋まちづくり協議会
31	子ども避難体験事業	警固屋まちづくり協議会
32	地域貢献人材発掘育成事業	警固屋まちづくり協議会
33	まちづくり若者提案事業	阿賀まちづくり推進協議会
34	あがまち銘板事業	阿賀まちづくり推進協議会
35	今昔子どもふれあい大会	阿賀まちづくり推進協議会
36	第43回 広子ども祭	広まちづくり推進協議会
37	第68回 広地区教育祭	広まちづくり推進協議会
38	第13回 広地区クリーン活動	広まちづくり推進協議会
39	仁方地区自主防災会合同避難訓練	仁方町まちづくり推進協議会
40	仁方夏まつり	仁方町まちづくり推進協議会
41	「春が楽しみ！チューリップ」事業	仁方町まちづくり推進協議会
42	地域交流懇談会（仁方の福祉を考える会）	仁方町まちづくり推進協議会
43	「宮原ホタルの里」	宮原地区まちづくり推進委員会
44	宮原地区合同防災訓練	宮原地区まちづくり推進委員会
45	「噫戦艦大和之塔」美装化事業	宮原地区まちづくり推進委員会
46	鯉のぼりの吹き流し	天応まちづくり委員会
47	天応町納涼盆踊り大会	天応まちづくり委員会
48	「笹酒まつり」と「もちつき大会」	天応地区社会福祉協議会/天応まちづくり委員会
49	第11回 昭和地区ふれあいフェスティバル	昭和地区まちづくり協議会
50	平成29年 昭和地区「成人の日」記念式典・記念行事	昭和地区まちづくり協議会

No	事業名	団体名
51	昭和地区呉市合併60周年記念式典	昭和地区まちづくり協議会
52	郷原町民運動会	郷原町まちづくり推進委員会
53	ふれあい・いきいきサロン	郷原町まちづくり推進委員会
54	城山「火の用心」文字塗替	郷原町まちづくり推進委員会
55	第4回とびしマーレ～柑橘の海～	一般社団法人下蒲刈まちづくり協議会
56	いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAPウォーク	呉市川尻町まちづくり委員会
57	川尻町新成人を祝う会	川尻町新成人を祝う会実行委員会
58	川尻町敬老会	川尻町地区社会福祉協議会
59	かわじり元気まつり	川尻町元気まつり実行委員会
60	2016おんどフェスティバル	音戸町まちづくり協議会
61	トワイライトふれあいフェスタ	音戸町まちづくり協議会
62	第5回島コンin倉橋（広島県最南端で見つける恋）	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝婚活部会
63	くらはし お宝朝市	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝朝市部会
64	こどもチャレンジ教室	宝島くらはしまちづくり協議会
65	第16回 かまがり恵みフェア	蒲刈町まちづくり協議会
66	人材育成研修事業 「安浦たんと塾・先進地研修」	安浦町まちづくり協議会
67	後生に残す「まちしるべ石碑」事業	安浦町まちづくり協議会
68	ビューティフルアイランド祭り	豊浜町まちづくり協議会
69	伝統的料理の教室	豊浜町まちづくり協議会
70	歩け歩けウォーキングコース 命名プロジェクト	豊浜町まちづくり協議会
71	魔法のランプ事業	豊浜町まちづくり協議会
72	第11回 豊町産業文化祭	豊町まちづくり協議会
73	第33回 豊町七夕納涼祭	豊町まちづくり協議会

番号	1	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	第15回 みずとひ祭り			事業費	303,000円
事業の目的	<p>第2地区まちづくり委員会では、人と人のふれあいを大切に、活力あるまちづくりに資することを目的として、みずとひ祭り、ふれあい朝市などを実施してきました。その中でも夏に行われる「みずとひ祭り」は、子どもから高齢者まで、地域をあげて多くの人々が参加するビッグイベントとして定着し賑わっています。今後も、地域内外から多くの人々が参加し、人と人とのつながりや新たな交流が広がるよう、内容を充実させることが必要だと考えています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成28年8月14日(日) 午後5時30分～午後9時 ・場所 和庄小学校校庭及び体育館 ・内容 小学生以下を対象としたジャンケン大会 お楽しみ抽選会 和庄中学校吹奏楽部の演奏 盆踊り 神楽の鑑賞 地域の人たちによる模擬店(焼き鳥、焼きそば、かき氷、フランクフルト他) ・来場者 約1,000名 <p>※参加促進のため、65歳以上の高齢者には1世帯300円の【元気券】を、また、小学生には1人300円の【子ども券】を配付した。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>第2地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「わいわい地域交流」活動の一環として、女性会や民生委員児童委員等と話し合いながら企画立案しました。地域ボランティアの多数の参加もあり、地域全体が盛り上がるイベントになりました。</p>				
苦労した点	<p>地域の担い手の高齢化に伴い準備が大変だったが、和庄中学校の生徒約70名と親父の会の方がボランティアとして手伝ってくれたおかげで助かりました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>会場の様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>屋台の様子 </p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>盆踊りの様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>神楽の観賞</p> </div> </div>				


番号	2	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	ふれあい朝市			事業費	約150,000円
事業の目的	<p>市町村合併を契機に地域内、地域間交流を目的に始めたふれあい朝市も今回で11回目を迎えました。現在では、多くの来場者で賑わうなど、夏はみずとひ祭り、冬はふれあい朝市と呼ばれるほど、地区内を代表するイベントとして定着し、地域の活性化に貢献しています。ふれあい朝市では、至る所であいさつや世間話を楽しむ光景が見られます。中には、朝市のおかげで、しばらく会っていなかった人に再会し話しができた方もおられます。今では、地区外から参加される方も多く、新たな交流が生まれています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時 平成28年3月13日(日) 8:30～11:30 ・場 所 元町公園(旧本通第3公園) ・内 容 <ul style="list-style-type: none"> ・きねつき餅実演販売 ・地域ボランティアがつくった物品の販売 (かき飯, とり飯, たらい寿し, たこ焼き, コロッケ, うどん, 清水谷名水コーヒー等) ・子どもゲームコーナー設置 ・健康増進課による健康づくりコーナーの設置 (血圧測定, 健康相談及び減塩豚汁の炊き出し) ・来場者 約1,000名 <p>※参加促進のため、65歳以上の高齢者には1世帯300円の【元気券】を、また、小学生には1人300円の【子ども券】を配付した。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>・第2地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「わいわい地域交流」活動の一環として、女性会、民生委員児童委員、地域ボランティア等と話し合いながら企画立案しました。夏に開催する「みずとひ祭り」と同じように、地域全体が盛り上がるイベントになりました。</p>				
苦勞した点	特にありません				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ふれあい朝市の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ふれあい朝市の様子</p>				




番号	3	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	バケツ稲栽培事業			事業費	約120,000円
事業の目的	<p>日本の食文化の中心である米づくりを田植え(バケツ・プランタンを使用)から体験し、米づくりの大切さ、難しさを学び、収穫された餅米を使い年末に餅つき大会を開催する。</p> <p>子どもたちは市販の餅は食べても、餅ができる過程を知る機会がない。そこで、バケツ稲栽培を通して餅ができる過程を体験してもらうことにした。バケツに稲を植える利点は、各自の責任で稲を育てられること、作業の苦勞を体験できること、身近な観察が可能であることが挙げられる。また、田植えに始まり、稲刈り、餅つきを通して、地域の高齢者に教えてもらったり、一緒に作業を行うことにより世代間の交流が図られる。さらに、この体験を通じて食卓の食べ物に興味を持ち、一粒のお米の大切さに気づいてもらうなど稲作や農業について理解を深める。</p>				
事業概要	<p>日 時:平成28年6月5日(日) 10:00~12:00 場 所:和庄小学校 体育館 グラウンド 内 容:バケツ稲栽培について指導員から説明(体育館) グラウンドで作業を行う 苗床用土の混合(黒土6, 赤玉土3, 鹿沼土1)後、肥料を混ぜ、用意したバケツ, プランタンに入れる。 種まき, 田植えたバケツを各家庭に持ち帰り育てる。 (苗の移植→分けつ→中干し→開花→稲刈り 水温管理, スズメ対策等)</p> <p>日 時:平成28年10月16日(日) 10:00~12:00 場 所:和庄小学校 体育館 グラウンド 内 容:幸せの収穫祭 お米にする→脱穀(穂からもみをとる) 牛乳パックの中に穂を入れて引っばる。 個別に計量→まとめて精米→餅米を年末の餅つき大会で使用</p>				
この事業を企画・実施した人	第2地区まちづくり委員会が、わいわい地域交流事業の一環として、地域住民の交流、地域間・世代間の交流を目的に企画、実施した。当事業には、和庄小学校区の第3地区まちづくり委員会の方も参加し、和庄小学校の協力を得て実施した。				
苦勞した点	・台風対策, スズメ対策, 病害虫対策, 水温管理など				
活動状況	 <p>バケツ稲栽培について説明</p>		 <p>土の準備</p>		
	 <p>脱穀</p>		 <p>個々に計量</p>		

番号	4	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	Good-bye2016昔遊び・餅つき交流フェスタ			事業費	124,000円
事業の目的	<p>近年、子どもを取り巻く地域・社会環境は、事件・事故等多くの課題を抱えています。子どもにとって安全・安心なまちづくりを実現するためには、地域の絆を深めるとともに、地域ぐるみで児童の健全育成活動を推進する必要があります。その活動の一環として、和庄小学校を通学区域とする子ども達が地域の人と一緒にお正月の伝統的な「昔遊び・餅つき」を体験し、地域の異世代の人々と交流を持つことにより、地域の人と顔なじみになり、日頃の挨拶も活発に行われるなど、子どもを取り巻く環境や安全に対する住民の意識も高まるものと考えられます。祖父母→お父さん・お母さん→お孫さんと次世代への伝統文化の継承及び地域・世代間の交流を通して、高齢者が生き甲斐を持ち地域社会に貢献するとともに、子ども達も地域文化に目覚め、地域の人々と豊かな関係性を持って成長することを目指します。なお、昨年度から、バケツ稲栽培を通して、自分たちが手塩にかけて育てあげ、収穫した餅米を一部使用しています。</p>				
事業概要	<p>・日時 平成28年12月28日(水) 9:00～12:30</p> <p>・場所 和庄小学校校庭</p> <p>・内容 昔遊び体験コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こま回し、けん玉、凧揚げ及びお手玉の4つのコーナーを設け、子ども達が地域の方に教えてもらいながら昔遊びを一緒に体験します。 <p>ふれあい餅つき大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杵での餅つきや足踏み式餅つきを体験します。 ・つきたての餅をぜんざいにしたり、きな粉やしょうゆをつけて食べます。 ・参加された方にはお土産として餅を配布します。 ・今年度も、バケツ稲栽培で収穫した餅米で作った餅を食べたことにより、子どもにとってもちができる過程を学ぶことができ、農業や食育に対する関心を深めることができました。 <p>・参加者 約350名</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>平成25年度から3年間、和庄小学校区の第2地区及び第3地区まちづくり委員会が連携事業として、市民ゆめ創造事業交付金(地域間連携推進事業)を財源に充て実施しましたが、今年度は、第2地区まちづくり委員会単独で実施しました。年末の餅つき大会を楽しみにしている方も多く、地域間、世代間交流を育む良い機会となりました。</p>				
苦勞した点	<p>ノロウイルスの流行に伴い、各地で餅つき大会を中止する所が出て開催を危ぶむ声もありましたが、地域のふれあいや一体感を醸成するには餅つき大会を開催するべきだとの意見が多かったため、衛生面に十分気をつけ実施しました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>こま回し体験 </p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>凧の製作 凧揚げ </p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ぜんざいの配膳</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>子どもの餅つき体験</p> </div> </div>				

番号	5	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	第3地区冬まつり			事業費	約430,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の交流を図り、絆を強める。(世代間交流も含む) ・伝統文化の継承 ・子どもの健全育成 ・防災訓練を兼ねた冬まつりを実施することにより、安全安心なまちづくりについて考える。 				
事業概要	<p>【日時】平成29年2月11日(祝・土)9:00~12:00 【場所】本通小学校グラウンド 【内容】 平成22年度に、30年ぶりの復活を果たした、「とんど焼き」を中心とした、地域の子どもと大人が交流できる事業で、今年は7回目にあたります。 とんど焼きの他に、防災訓練、交通安全教室、餅つき大会、大人と子どもの遊び、ものづくり教室、本通小学校PTAによるバザー(古本、古着、雑貨、乾物の特価販売)など、盛りだくさんの内容となっています。 ものづくり教室、パン食い競争、もち焼きなど、子ども達が楽しむ姿が印象的でした。 【参加者】550名</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>【企画】第3地区まちづくり委員会 地域文化の伝承部会 【実施】第3地区自治会連合会・本通小学校・PTA・ソフトボール同好会・地区子ども会 和庄中学校有志・呉警察署・呉市消防局西消防署・呉市消防団呉東地区隊本通分団 第3地区内の商業振興部会・地域内外の有志・呉市</p>				
苦勞した点	<p>天候(天気予報が当日雨だったため、前日準備も含め早めに順延を決定した。) とんど設計・製作及び材料集め 警察、消防及び各種団体との連携・調整 とんどの焼却灰の処理</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>とんど組み立て</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>燃え上がるとんどを見守る人々</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>合同防災訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>餅つき大会</p> </div> </div>				

番号	6	団体名	第4地区まちづくり委員会	代表者	中塩 幸一
事業名	盆踊り大会(参加促進支援事業)			事業費	114,963円
事業の目的	地域の絆を深めるため、毎年、長迫小学校校庭で、地元の奉賛会と6つの自治会が合同で盆踊り大会を開催しています。この盆踊りに出店する焼きそば、かき氷、フランクフルトのコーナーで使用できる買い物券をまちづくり委員会が発行し、地区内の自治会を通じて配付したことにより、多くの参加者が集まり、地域全体のイベントとして盛大に開催されています。そのことで、顔と顔の見える地域社会の実現に繋がっています。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成28年8月6日(土) 18時～21時 ・場所 長迫小学校グラウンド ・参加人数 約300名 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・夜店 <ul style="list-style-type: none"> 焼きそば、フランクフルト、ジュース、かき氷 ・ゲームコーナー <ul style="list-style-type: none"> 風船釣り、スーパーボールすくいなど ・盆踊り大会 <ul style="list-style-type: none"> 長迫小学校グラウンドにやぐらを組み炭坑節、呉音頭にあわせて踊る。 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊り 鹿田迫奉賛会、六ヶ町自治会 ・参加促進支援 第4地区まちづくり委員会 				
苦労した点	範囲の広い第4地区をまとめ、地域文化の伝承と季節の風物詩である盆踊りを盛り上げるため、第4地区まちづくり委員会としてどのような方法が最も効果的かを検討した結果、買い物券の配布を続けているが、多くの人に参加するようになり一定の効果は果たしている。				
活動状況	 <p style="text-align: center;">会長挨拶</p>		 <p style="text-align: center;">盆踊りの様子</p>		
	 <p style="text-align: center;">会場の様子</p>		 <p style="text-align: center;">会場の様子</p>		

番号	7	団体名	第4地区まちづくり委員会	代表者	中塩 幸一
事業名	長迫公園(旧海軍墓地)清掃			事業費	77,674円
事業の目的	<p>長迫公園(旧海軍墓地)をお盆前に地区内の住民が清掃しています。 戦後、荒れ果てていた旧海軍墓地を近隣住民が自主的にきれいにしていました。これまで約60年もの間、清掃活動を継続しています。清掃後は、参加者全員で慰霊祭壇に黙とうを捧げています。第4地区は範囲が広いですが、長迫公園から遠方の住民も参加しています。子ども会もラジオ体操の後に、この清掃活動に参加しており、地域の大切な行事として次世代にも引き継がれています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時 平成28年8月12日(金) 午前6時50分 清掃開始 その後、慰霊祭壇に黙とう ・場 所 長迫公園(旧海軍墓地)園内道路や水路を含む周辺一帯 ・参加者 約150名 ・内 容 ・清掃 参加者で公園内の植栽、園路、溝、水路、石垣法面など全体を清掃した。 参加者に清掃用の手袋と熱中症対策の飲料水を配布した。 ・黙とう 清掃後、慰霊祭壇に参加者全員で黙とうを捧げた。 				
この事業を企画・実施した人	第4地区自治会連合会とまちづくり委員会				
苦労した点	高齢者や子どもが多く参加したため、安全対策に苦労しました。(熱中症、けが、まむしなど)				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>清掃活動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>清掃活動</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>清掃活動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>慰霊祭壇に黙とう</p> </div> </div>				





番号	8	団体名	第4地区まちづくり委員会	代表者	中塩 幸一
事業名	防犯パトロール大会			事業費	181,148円
事業の目的	<p>地域住民の犯罪予防に対する意識を喚起し、住民と関係機関が連携して犯罪のない地域社会を構築することを目的とし、年の瀬を迎える11月に、第4地区では防犯パトロール大会をまちづくり委員会の主催で実施しています。</p>				
事業概要	<p>・日時 平成28年11月13日(日) 午前10時 ・場所 第4地区内各地→長迫小学校グラウンド ・参加人数 約250名 ・内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年ぶりに好天に恵まれ、第4地区内各地から長迫小学校まで、幟旗を持ち交通安全を呼び掛けながら防犯パレードを行った。 ・アトラクションが好評でした。 （和庄中学校吹奏楽部の演奏 平原保育園児の太鼓演奏、遊戯） ・平原保育園児による「ガンバロウ」の三唱 ・女性会より豚汁が振る舞われました。 <p>※平成25年度から3年連続雨天だったため、防犯パレードを中止し式典のみ行ったが、今年度は好天に恵まれたため、4年ぶりに防犯パレードを行った。第4地区内各地から、幟旗を持ち「安全・安心のまち」「交通安全」を呼び掛けながら多くの方が長迫小学校を目指してパレードする姿は壮観であった。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>第4地区まちづくり委員会の地域防犯・防災を担当する「安全部」が中心となって開催。地元女性会とも連携を図っています。</p>				
苦勞した点	<p>3年連続雨でパレードが中止だったため、今年度も天候について心配しました。</p>				
活動状況	 <p>パレードの様子</p>		 <p>式典の様子(来賓挨拶)</p>		
	 <p>和庄中学校吹奏楽部の演奏</p>		 <p>平原保育園児のアトラクション</p>		

番号	9	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	区域内防災訓練と防災備品整備			事業費	約1,200,000円 (訓練, 備品合計)
事業の目的	<p>第5地区は、市内中心部から灰ヶ峰中腹にわたり南北に細長く広がる地域で、急峻な地形が複数の河川や谷などを形成しており、また急勾配で狭い道路も多く、災害時の避難や物資の搬送などに不安を抱えています。</p> <p>このような中、住民アンケートで最も関心の高かった「防災」に対する意識を高めるとともに、実際の災害時における行動を想定した「体感」シミュレーションを行うため、地域内を4ブロックに分けて総合防災訓練を行いました。</p>				
事業概要	地区	惣付地区	明立小学校区	辰川・畝原地区	荘山田小学校区
	日時	H28.6.26(日)	H28.7.20(水)	H28.11.13(日)	H28.12.22(木)
	場所	惣付公園・ふれあい集会所	明立小学校	辰川会館	荘山田小学校
	参加者	約90名 幼小中学生, 地域住民	344名 幼小中学生, 地域住民	194名 小中学生, 地域住民	中央地区まちづくり委員会との合同事業 詳細は別シートで説明
	内容	①②③④⑦	①②③④⑤⑥⑦	①②③④⑤⑥⑦	
	①消火訓練, ②搬送訓練, ③救命(AED)訓練, ④119番通報訓練, ⑤ロープ結索方法⑥煙中体験⑦講話 ・防災用品収納倉庫:H23:4か所新設, 1か所改修(旧辰川小体育館下倉庫) H24:5か所新設 H25:2か所新設・1か所共用(4自治会は自治会で倉庫を設置済み), 炊き出し用釜2セット購入 H26:炊き出し用釜2セット, 大型扇風機10台, 発電機2台, 会議机29台購入 H27:大型ストーブ4台購入 →拠点避難所(明立小学校, 荘山田小学校, 辰川会館, 惣付ふれあい集会所), 準拠点避難所(第5地区集会所)に配備				
この事業を企画・実施した人	まちづくり委員会内の「安心して住めるまちづくり部会」(メンバー13名)が企画し、各ブロックごとに、所属する自治会長が中心となって、会場準備や消防との調整、物品の準備、当日の運営などを行いました。				
苦勞した点	<p>※子どもからお年寄りまで、地域に住む皆さんが参加できるよう、学校や幼稚園などと協力して実施できるよう調整しました。また、体験的プログラムを取り入れ、参加者に少しでも興味を持ってもらえるよう工夫しました。災害は、いつどこで起こるかかわからないので、開催日時と場所を考えました。休日の午前だけでなく、終業式後に実施した箇所もあります。</p> <p>会場は、地域の防災拠点ごとに設定しました。特に小学校は重要で、校区が第5・第4地区にまたがっている「明立小」と、第5・中央地区にまたがっている「荘山田小」は、「学校区」という単位でまとまって訓練できるよう協働事業で実施しました。</p> <p>※これらの活動により、平成25年度中に全自治会に自主防災会が結成されました。防災用品は、自主防災会設立と同時に設置・購入計画をたて、数年間をかけて整備しております。</p>				
活動状況					
	消防団による講話		搬送方の訓練		
					
	幼児による水消火器訓練		炊き出し訓練		

番号	10	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	呉市の歴史と文化を訪ねて～倉橋町～研修バスツアー			事業費	約250,000円
事業の目的	<p>第5地区内には2つ小学校があり、4つの学区にまたがっています。まちづくり委員会では、未来を担う子どもたちが、同じ地域で学区の枠を超えて交流し、健やかに育つよう、交流の場や学びの場を作ることが大切であると考えました。そのため、地区内に住む幼児、小学生とその保護者、地域の皆さんを対象に、呉の歴史や地域ごとの特色を学び体験するバスツアーを計画、実施しています。</p> <p>28年度の目的地は倉橋地区。観光ボランティアの皆さんにガイドしていただき、歴史と自然が豊かな桂浜地区を散策し、倉橋の魅力を再発見することが出来ました</p>				
事業概要	<p>日時 平成28年8月24日(水) 午前10時30分出発、午後2時30分解散 参加者110名 (幼児・小学生59名、保護者・関係者51名)</p> <p>訪問先</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 桂浜海岸 万葉の碑、日本最古の西洋式ドック跡 ② 桂浜神社 国の重要文化財 ③ 長門の造船歴史館 復元された遣唐使船 ④ 桂浜にて水遊び <p>※ ④では、倉橋観光ボランティアの方達により魚釣りゲームを行っていただき、大変盛り上がりました。</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり委員会内の「未来へつなぐまちづくり部会」(メンバー13名)が企画し、見学先の選定や事前打ち合わせ、観光ボランティアとの調整、当日の運営などを行いました。				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間の交流が図られるような企画内容にするため、地区社会福祉協議会と協力して事業を実施しました。 ・充実したプログラムにしたいと考え、事前に現地に行き、受け入れ先の観光ボランティアと調整を行いました。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>長門の造船歴史館見学</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>倉橋の歴史を学ぶ研修参加者</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ガイドさんの説明に聞き入る子ども達</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>きれいな浜辺で水遊び</p> </div> </div>				





番号	11	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	わくわく子育てサロン			事業費	約30,000円
事業の目的	<p>第5地区まちづくり委員会では、まちづくり計画の5つの柱のひとつ「住んでいる人にやさしいまちづくり」を推進するため、部会を組織し、子どもから高齢者まで住んでいる人が多くの人と関わり合いが持てるような事業を実施しています。</p> <p>その中で、子どもたちが健やかに育ち、子育てに悩むお母さんが孤立しないよう、地域でサポートしようと「わくわく子育てサロン」を計画しました。年4回程度、山田福祉会館を会場に、毎回、育児・医療・安全など子育てに関するテーマを設定し、民生児童委員や市の担当者等の指導で、わきあいあいと楽しいひとときを過ごしてもらいたいと思っています。</p>				
事業概要	日時:H28. 2. 23(火) 場所:山田福祉会館 参加: 幼児17名, 保護者14名 内容: ・折り紙でひなかざり ・絵本のよみかたり ・ママと一緒に健康くれ体操 ・保健師さんの健康教室	日時:H28. 7. 4(月) 場所:惣付ふれあい集会所 参加: 幼児17名, 保護者15名 内容: ・七夕飾りづくり ・絵本のよみかたり ・はじめよう減塩生活 ・七夕のお遊戯会	日時:H28. 9. 27(火) 場所:山田福祉会館 参加: 幼児14名, 保護者13名 内容: ・お月見会 ・絵本のよみかたり ・おうたのきょうしつ ・赤ちゃんの健康相談	日時:H28. 12. 15(木) 場所:山田福祉会館 参加: 幼児16名, 保護者17名 内容: ・クリスマス会 ・絵本と紙芝居 ・折り紙づくり ・サンタさんからのプレゼント	
この事業を企画・実施した人	まちづくり委員会内の「住んでいる人にやさしいまちづくり部会」(9名)のメンバーが、民生児童委員や地区社会福祉協議会と連携して広場を運営しています。				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施にあたり、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会と協力して事業を実施しました。 ・サロンが行われる時だけでなく、地域に帰って日常生活を送る時に、お母さんと子どもが孤立しないための工夫が必要です。参加者同士・参加者と地域住民のふれあいを重視しています。 ・参加者が増加し、会場の山田福祉会館が手狭になっています。 				
活動状況	 <p>親子でいっしょに体操</p>		 <p>サンタさんからプレゼント</p>		
	 <p>折り紙上手に折れたかな？</p>		 <p>七夕飾り取り付け中</p>		

番号	12	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	第6地区夏まつり			事業費	約500,000円
事業の目的	<p>今年で第9回目を迎える「第6地区夏まつり」には、地区内の自治会や社会福祉法人などが、肉じゃがや唐揚げなどの屋台(テント)を出店しています。また、中学生や地元のおやじバンドなどによる発表、そして、盆踊りや花火大会、地元のスーパーマーケットが担当する抽選会も行われ、地域が一体となって開催する第6地区の夏の一大イベントとなっています。</p> <p>地元の地縁団体だけでなく様々な団体・各世代が一つとなってこのような行事を行うことによって、地元の一体感や世代間交流が促進されています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成28年8月20日(土) 午後5時～午後8時15分 ・場所 片山中学校グラウンド ・内容 屋台(テント) いなり寿司, パン, 唐揚げ, ポップコーン, 綿菓子, かき氷, フランクフルト, コロッケ, 肉じゃが, おむすび, うどん, たこ焼き, ジュース, 生ビール お遊びコーナー 輪投げ, 風船ヨーヨー, スーパーボール, 輪投げ, まとあてなど 発表, 抽選会 片山中吹奏楽部(円形校舎前), 運推協による健康くれ体操(ステージ前), 地元のおやじバンド「かぶと虫バンド」(ステージ), ナンバー抽選くじ(ステージ) 盆踊り 花火 子ども用花火, 打ち上げ花火, ナイアガラ ・参加人数(一般参加) 1,174人 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会を中心とした地元各団体が実行委員会(6/21, 7/22)をつくって実施 ※小中学校や地元のスーパーマーケット藤三, 社会福祉法人かしの木なども全面協力 				
苦労した点	<p>会場となる片山中学校の多数のボランティア(会場づくりや片付け, 司会, 吹奏楽部の発表, 子ども用花火の配布など)を含む全面協力がなければ実施できない行事ですが, そういった学校などとの連携が結果的には世代間交流や地域の団結力につながっていると感じます。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>オープニングは片山中吹奏楽部</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>地元のおやじバンド「かぶと虫バンド」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>参加者みんなで盆踊り</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>エンディングは打ち上げ花火とナイアガラ</p> </div> </div>				

番号	13	団体名	第6地区社会福祉協議会	代表者	藤本 勝彦
事業名	第6地区敬老会			事業費	524,251円
事業の目的	<p>第6地区では、第6地区未来基本計画の9ページ「実施計画」にある「各種イベントの開催」で「高齢者を支えます」を目標に、各種団体の協働の幅を少しずつ増やしながら、敬老者に喜んでいただける敬老会を開催できるよう活動しています。</p> <p>今年度も、地元の団体や幼稚園、小中学校、社会福祉法人などが協力して手作りの敬老会を開催したことにより、アットホームで本当にお年寄りが喜んでくださった行事になりました。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成28年9月19日(月・祝) 10時～12時15分 ・場所 くれ絆ホール(呉市役所1階) ・敬老対象者数 590名 ・来場者数 約700名(うち、敬老対象者:371名) ・内容 式典 ①開会のあいさつ ②国歌・呉市歌斉唱 ③物故者への黙とう ④会長あいさつ ⑤来賓祝辞・紹介 ⑥祝電披露 演芸(アトラクション) ①至心幼稚園「遊戯と歌」 ②荘山田小学校「歌と語り」 ③かしの木「日本舞踊、歌と手話」 ④きたさこ華一ず「自治会コーラス」 ⑤運動普及推進員「健康体操」 ⑥片山中学校「合唱と吹奏楽」 閉会のあいさつ 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会とまちづくり委員会を中心とした地元各団体が協力して実施 ※地元の幼稚園や小中学校、社会福祉法人かしの木なども全面協力 				
苦勞した点	<p>地元の敬老者はやはり地元のみinnでお祝いしようと、各団体やグループ、幼稚園、小中学校などが協力して行ったことで、世代間交流にもなりました。</p> <p>また、本年度は新しい会場での開催で受付や会場内での案内等で戸惑う場面もありましたが、反省会で中学校長から「そのような場面で中学生をボランティアとしてどしどし利用してください。」との心強いことばをいただきました。</p> <p>近所で見かける子どもや若者が自分たちのためにお祝いしてくれるのをうれしそうに見ているお年寄りの姿を見て、今後も地元の団結力で事業を継続させたいと決意を新たにしました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>2016/09/19 10:35</p> <p>至心幼稚園「遊戯と歌」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>2016/09/19 10:40</p> <p>荘山田小学校「歌と語り」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>2016/09/19 11:08</p> <p>かしの木「歌と手話」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>2016/09/19 11:13</p> <p>きたさこ華一ず「自治会コーラス」</p> </div> </div>				

番号	14	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	災害時協定の締結・総合防災訓練			事業費	約300,000円
事業の目的	<p>・災害時における自助・共助の地域力を強化するとともに、中学生に主体性をもって防災訓練に取り組んでもらうことなどで、地域の将来を担う人材を育成すること。</p> <p>・地区住民に避難場所の確認と意識付けを行うとともに、避難時の問題点を洗い出すことにより、有事の際に多くの命が助かるようにするため、住民の危機管理意識を育てること。</p> <p>・まちづくりの柱の一つに位置づけ、住民だけでなく地域内の福祉施設や店舗などを含む地域組織として、危機意識を持って取り組むことで、地域の一体感(絆)が生まれる事業にする。</p>				
事業概要	<p>【日時・場所】〔災害時協定調印式〕・平成28年11月25日(金)9:00~9:30・かしの木内神 〔総合防災訓練〕・9:30~14:00・片山中学校</p> <p>【防災協定】 当まちづくり委員会では、平成24年に地元の藤三片山店と災害時の避難所としての敷地の一部使用や食糧等の優先的な購入等についての防災協定を締結していますが、このたび、(福)かしの木とも災害時における施設の一部使用協定を結びました。</p> <p>【防災訓練の内容】 10時45分に震度6の地震があったことを想定して、地域内の幼・小・中・福祉施設・住民全ての人を対象に避難訓練を行い、地域の避難場所としての片山中学校に避難し、グラウンドで全員の安否確認を行いました。</p> <p>その後、グラウンドで、初期消火・衛星電話での通話・給水の3訓練を、校舎内で煙中・避難所設営の2訓練を行いました。小学生高学年及び中学生が低学年及び幼稚園児とペア(チーム)を組んで訓練に参加したことで、地域内の子ども同士の連帯感が生まれました。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>◎総勢828人 【主催】第6地区まちづくり委員会</p> <p>・第6地区社会福祉協議会 ・第6地区自治会連合会及び女性会 ・片山中学校 ・荘山田小学校 ・至心幼稚園 ・社会福祉法人かしの木 ・呉市社会福祉協議会 ・(株)藤三 ・西消防署 ・消防団呉中央分団 ・水道局 ・呉警察 ・NTT西日本 ・ウォンツ片山店</p>				
苦勞した点	<p>中学校と連携しながら中学生に主体性をもってもらうよう工夫しました。また、地域のリーダーには、当日の役割や動きの確認をするため、複数回の説明・打ち合わせ会を行いました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>災害時協定書調印式</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>初期消火訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>衛星電話での通話訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>避難所設営訓練</p> </div> </div>				

番号	15	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷 一彦 木村 公一
事業名	第7回 くれ中央夏まつり(くれ絆盆踊り大会)			事業費	約1,100,000円
事業の目的	<p>中央地区には史跡や神社仏閣、伝統行事がないので、地区の祭りがなく、高齢者と若者・子どもの交流が少なくなっています。また、近年マンション等の住民は増えていますが、自治会に加入していない方も多いため、若い世代が地域行事に参加する機会が少なくなっています。</p> <p>このような中、交流と賑わいの場を創り出すとともに、地域の方の参加意識の向上を目指して、気軽に楽しく参加できるイベント「くれ中央地区夏まつり」を実施しています。</p> <p>なお、平成25年の第4回から、場所を体育館前の児童公園から、中央公園噴水西側に移し、ステージを組んで、呉市文化団体連合会民舞民謡部の方々等による「呉音頭」講習と「盆踊り大会」を盛大に開催しています。</p>				
事業概要	<p>日時 平成28年8月20日(土) 16:00~21:00 ※準備は13:00~, 後片付け終了は22:00</p> <p>場所 中央公園噴水西側</p> <p>内容 模擬店運営 かき氷, フライドポテト, たこ焼き, 焼きそば, フランクフルト, 焼き鳥, コロッケ, 唐揚げ, すぎやカレー, 飲み物(生ビール, 缶ビール, ジュース), 枝豆 こども広場運営 ヨーヨー釣り, スーパーボールすくい, ビンゴゲーム, お宝釣り, 輪投げ, コイン落とし, 水鉄砲, お楽しみ抽選会(うちわくじ) くれ絆盆踊り, 子ども花火, 神楽</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内のコミュニティ推進部会と青少年育成部会が中心となって企画立案するとともに、他の部会と民生委員, 行政(市, 警察, 消防団), くれ絆盆踊り実行委員会などが協働して各ブースの設営, 運営に当たりました。</p>				
苦勞した点	<p>平成25年から、会場を広げて模擬店・子供広場を工夫し、ステージを設営するなど地域の方々等総出で運営しています。ステージでは、地元ボーイスカウト・ガールスカウトによるブラスバンド、ジャズバンド、盆踊り大会などのほか、神楽の上演を行いました。年度当初から準備委員会を立ち上げ、タイム設定・進行に最後まで気を配りました。公園周辺に事前に立て看板を設置するなど、事前広報に努めました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>夏祭り全景</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>キッズコーナー風景</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>呉音頭で盆踊り</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>神楽上演(戻り橋)</p> </div> </div>				

番号	16	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷 一彦
事業名	第7回 まるごと・中央地区ウォーキング大会			事業費	約40,000円
事業の目的	<p>中央地区は、駅に近いことから、市外へ通勤通学する方が多く、またオフィスビルも多いため、昼間人口と夜間人口の動きが激しくなっています。また、マンションが多く、共働き世帯も多いことから、人のつながりが希薄になっています。</p> <p>このような中、自治会加入者と未加入者、また地域内に住む方と地域内で働く方など、多くの方が交流し、楽しく健康づくりができるよう、「まるごと・中央地区ウォーキング大会」を実施しています。</p> <p>また、中央公園児童公園で、防災訓練炊き出しを行い、ウォーキングを終えて帰った参加者に、今年はカレーライスを提供し、疲れを癒やしました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成28年5月28日(土) 午前9時～午後1時</p> <p>参加者 110名</p> <p>内容 ゆったり散策コース 1km 中央公園→二河公園グランド→往復→中央公園</p> <p>モデルコース(中央地区半周) 3.5km 中央公園→市役所→蔵本通→大和ミュージアム→二河川公園→二河川沿い→呉中央学園→中央公園</p> <p>健脚コース(中央地区一周) 6km 中央公園→二河公園→東片山町→辰川川沿い→市役所→蔵本通→大和ミュージアム→二河川公園→二河川沿い→山手橋→中央公園</p> <p>※ ゴール後、中央公園で防災訓練炊き出し(カレーライス)を実施</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の健康づくり部会(メンバー10人)が中心となって企画立案するとともに、他の4つの部会と民生委員、防犯パトロール隊、健康増進課職員(健康くれ体操)などが協働して運営に当たりました。</p>				
苦勞した点	<p>昨年より、まるごと中央地区と題して、中央地区を一週するコースを基本に設定しました。お年寄りや子どもの参加者が多く、交通量の多いまちなかのコースでの安全確保をしっかりと行うため、防犯パトロール隊を始め、まちづくり委員会メンバーが先導やコース管理などを行い、安心してウォーキングを行うことができるよう注意しました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>準備運動(健康くれ体操)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>各コースへ向けいざ出発!</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>健脚コース(てつのくじら館前進行中)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>防災訓練(カレーライス炊き出し)</p> </div> </div>				


番号	17	団体名	第5地区、中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷一彦、土本敏明
事業名	荘山田小学校地域合同防災訓練			事業費	約317,000円
事業の目的	<p>第5地区は、市内中心部から灰ヶ峰中腹に向け住宅が密集する地域にあります。急峻な地形が複数の河川や谷などを形成し、急勾配で狭い道路も多く、災害時の避難について不安を抱えています。一方、中央地区は平坦な地形で土砂災害等の危険性は低い地域ですが、浸水被害の危険性がある地域です。</p> <p>そんな中、隣接地域に災害が発生した場合に対して、「住民が連携・協働して防災に関する知識や技術の習得しよう」「地域にあった防災対策を考えよう」という地域防災意識が高まってきました。その結果、荘山田小学校区を通学区とする住民が中心となり、「呉市市民ゆめ創造事業・地域間連携推進事業」により、2つのまちづくり委員会が合同して研究するための防災・防火訓練を実施することになりました。</p>				
事業概要	<p>日 時：平成28年12月22日(木) 14:00～16:30 場 所：呉市立荘山田小学校 参加者：295名 実施主体：荘山田小学校合同防災・防火訓練実行委員会 内 容：・5グループに分かれ実地訓練 (ロープ結索法、救急搬送法、煙中体験、応急手当法(AED)) ・炊き出し訓練 ・水消火器体験(幼児) ・避難誘導 ・防災研修(災害から身を守るために・・・) 広島県防災アドバイザー土本会長による講演</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>この訓練を実施するため、「荘山田小学校合同防災・防火訓練実行委員会」を立ち上げました。 会長 第5地区まちづくり委員会 土本会長、副会長 中央地区まちづくり委員会 中谷会長を中心に、双方のまちづくり委員会による15名の実行委員で企画・実施しました。</p>				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・当初は受付・開所式はグランドで行う予定でしたが、あいにくの雨により場所を体育館に変更し、救助訓練展示は中止しました。 ・災害は、いつどこで起こるかかわからないので、開催日時と場所を考えました。2学期の終業式後、子どもが一旦帰宅した日時で実施しました。 ・その結果、参加者は「そのとき地域に残った人で何ができるのか」と、問題意識をもって参加できました。 ・小学校の全面的な協力がなければ、この訓練は実施できませんでした。 				
活動状況	 <p>ロープ結束訓練</p>		 <p>水消火器を使用した的当て訓練</p>		
	 <p>炊き出し訓練の様子</p>		 <p>広島県防災アドバイザー土本会長による講演</p>		

番号	18	団体名	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区 社会福祉協議会	代表者	中谷 一彦 (平成28年度)
事業名	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区 合同敬老会			事業費	1,320,000円
事業の目的	<p>高齢化の進展に伴い、お年寄りの数が増える一方、社会の大きな転換期にある中、お年寄り以外の地域の担い手を確保することが難しく、「お年寄りを祝う」ための敬老会を、単位自治会や地区自治会連合会・地区社会福祉協議会単位ごとに、「お年寄り以外の手で」開催することが難しくなっています。</p> <p>このような中、行事に係る事務の簡素化とイベント規模の維持・拡大、また地域間の交流・連携を図ることを目的として、平成21年度から、中央地域の複数の地区社会福祉協議会が「合同敬老会」を共同開催しています。</p>				
事業概要	<p>日時 平成28年9月11日(土) 13時～15時30分 場所 呉市文化ホール 来場者数 約1,350名 内容 【式典の部】司会:吉本みほこさん(第2地区) 【演芸の部】司会:脇 秀典 会長(第3地区) ・楽器演奏(呉市立呉中央中学校吹奏楽部) ・呉警察署講話(振り込め詐欺にご用心) ・園児遊技1(認定こども園せいれんじ) ・第2・第3・第5・中央地区合同100人コーラス ・園児遊技2(呉聖園マリア園) ・歩一歩体操(社会福祉協議会) ・神楽鑑賞(大森神楽団「源頼政」)</p>				
この事業を企画・実施した人	第2地区・第3地区・第5地区・中央地区社会福祉協議会の会長が幹事役を持ち回り、会長及び役員、呉市(地域協働課)の協働により、6月から会議を重ねてイベント内容について協議しました。				
苦勞した点	招待者にゆったりと楽しいひとときを過ごしていただけるよう、アトラクションの内容については毎年協議を重ねています。今回も、中学生による楽器演奏は感動的で、前回から2箇所を増やした園児遊戯の明るく懸命な遊戯には、大きな暖かい拍手が起こりました。メインの神楽は、しばし時間を忘れる程の熱演で人気の一つです。				
活動状況	 <p>式典(主催者挨拶)</p>		 <p>楽器演奏</p>		
	 <p>合同コーラス</p>		 <p>神楽鑑賞</p>		

番号	19	団体名	第8地区まちづくり委員会	代表者	中田 清和
事業名	ふれあいまつり(夏まつり・盆踊り)			事業費	250,000円
事業の目的	<p>今年度で第14回目を迎える「ふれあいまつり」には、地区内の各自治会が、おでんやカレーなどの夜店を出店しています。また、子ども会による風船ヨーヨー釣りなどのゲームコーナー、そして、盆踊り(呉音頭など)も行われ、地域が一体となって開催する第8地区の夏の風物詩となっています。</p> <p>ふれあいまつりによって、自治会等のコミュニティ組織の一層の活性化が図られるとともに、盆踊りや呉音頭を次世代に引き継ぐなど、地域の伝統文化の継承と世代間交流が促進されています。</p>				
事業概要	<p>◇日時 平成28年8月21日(日) 午後6時～午後8時30分</p> <p>◇場所 二河川公園, 二河川河川敷</p> <p>◇内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜店(二河川公園) <ul style="list-style-type: none"> カレー, おでん, 焼きそば, ジュース・かき氷, ビール, フランクフルト, フライドポテト, 枝豆, 焼き鳥 ※全体のメニューは同じだが, 担当自治会が毎年, ローテーションでかわります。 ・ゲームコーナー(二河川河川敷) <ul style="list-style-type: none"> 輪投げ, 風船ヨーヨー釣り, スーパーボールすくいなど(子ども無料) ・盆踊り(二河川河川敷) <ul style="list-style-type: none"> 川原石地区からの応援を得て, 呉音頭だけでなく川原石音頭や炭坑節にあわせて踊りました。 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会とまちづくり委員会が協力して実施(子ども会, 呉音頭普及部会, 各自治会も参加) 				
苦勞した点	<p>毎年, 夜店で出す食べ物などのメニューを各自治会がローテーションで担当するため, 材料の調達や準備などが毎年変わり, その対応に苦慮していたが, レシピ等を作成して次の自治会に引き継ぐことによって改善を図っています。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「ふれあいまつり」のはじまり</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>子どもゲームコーナー(無料)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>各自治会による夜店</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>盆踊り</p> </div> </div>				

番号	20	団体名	第8地区まちづくり委員会	代表者	中田 清和
事業名	とんど祭り			事業費	
事業の目的	<p>心ふれあうまちづくりの推進のため、まちづくり委員会と地区社会福祉協議会を中心に、地元青年団、消防団などの協力によって、地区内の恒例伝統行事として毎年開催しています。</p> <p>市中心部では「とんど」を行っているところは少なく、第8地区では、近隣地区からもしめ飾りを燃やしたい人たちを受け入れており、中央地域全体の「とんど祭り」として広がりを見せています。</p>				
事業概要	<p>◇日時 平成29年1月22日(日)午後0時30分～3時30分(1時点火, 4時30分片付け終了) ※当初の日程は1/15でしたが、大雪のため1週間延期となりました。</p> <p>◇場所 二河川公園, 二河川河川敷</p> <p>◇内容 ○とんど(二河川河川敷)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年団を中心に、ワラや竹(15m)などの材料を調達して、1/8にとんどの「やぐら」を組みました。 ・会長(体調不良のため宮中三条3区自治会長)あいさつの後、その年の干支(今年はとり年生まれの人)生まれの人たちによってとんどに点火しました。 ・とんどでできた炭で餅を焼いて食べたり竹筒で酒を温めて無病息災を祈りました。 ・今年も、海外からの留学生や研修生(6か国36名)が参加し、自分たちで書いた書き初めをとんどで燃やしたりして日本の伝統文化を経験しました。 <p>○模擬店(二河川公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8区民生委員児童委員協議会が「ぜんざい」を振る舞いました。 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会, まちづくり委員会, 自治会連合会, 地区民生委員児童委員協議会, 青年団, 消防団など 				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・とんどの「やぐら」組みや材料の調達など。 ・特にとんどの「やぐら」組みは、青年団を中心にとんど実施前から多くの時間と人手をかけて組み上げています。(本年度は1/8(日)を中心に組み上げました) 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>2017/01/22 12:46</p> <p>字がうまくなるように書き初めを燃やします</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>2017/01/22 13:11</p> <p>民児協の「ぜんざい」の振る舞い</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>2017/01/22 13:02</p> <p>勢いよく燃え上がるとんど</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>2017/01/22 14:02</p> <p>とんどでできた炭で餅などを焼いて無病息災</p> </div> </div>				

番号	21	団体名	三条地区まちづくり委員会	代表者	山上 文恵
事業名	ふれあい広場三条運営事業			事業費	約360,000円 (家賃補助等)
事業の目的	<p>誰もが気軽に集える「ふれあい広場」は、空き店舗を借受け平成24年9月に開所。まちづくり委員会が家賃を支出、整備や運営はすべてボランティアスタッフが当たる手作りの施設です。</p> <p>高齢者には、地域の中で人とつながり、安心して暮らしていくための「よりどころ」として利用され、放課後は子どもたちが集う、笑い声が絶えない場になっています。日常利用だけでなく季節のイベントも開催され、まちづくり計画に掲げた地域課題を解決するための各事業をこの広場で実施し、住んでよかった、いつまでも住み続けたい両城・三条地区にしていきたいと思っています。</p> <p>何よりもボランティアスタッフの皆さんが、いきいきとやりがいを感じ、楽しんで運営にあたっておられます。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・場所 呉市三条2丁目15-20「毛糸きくや」跡の空き店舗(平成24年9月8日オープン) ・活動時間 毎週月曜日～土曜日(日曜・祝日は休所日)午前10時～午後4時30分 ・面積 (間口)3m×(奥行)12m＝約36㎡(約11坪) 家賃 3万円/月 ・利用料金 無料(お茶無料、コーヒー100円、かき氷100円(夏季限定)で提供) 誰でも無料で利用できる無料休憩所 ・運営体制 1日3人のボランティアにより運営(合計18人役/週) ・メンバー 三条まちづくり委員会会員、各自治会関係者、民生児童委員、赤十字奉仕団会員、運動推進委員、一般住民など ・利用実績 最近の利用人員 月平均 500人、一日平均 25人 <ul style="list-style-type: none"> ・平日はお茶や弁当をいただきながらの気まぐれおしゃべり会 ・男性陣は囲碁・将棋のうで試し ・放課後と土曜日は子供の居場所 ・イベント 4月 - お花見会 6月 - 七夕飾りづくり 7月 - 第4回 夏祭り 12月 - クリスマス会 2月 - 節分 3月 - 震災を忘れないために11コンサート(毎年開催) その他、定期的に「うた声広場」、「らくらく体操教室」、「手芸教室」を開催 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい広場三条の会 <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも(特に高齢者)が立ち寄れる場所を切望していた地域の有志数名 ・ふれあい広場を開設するに当たり「ふれあい広場三条の会」を設立 ・まちづくり委員会から財政支援(家賃と、25年度限定で空調・パソコン整備)と人的支援を受けています。 				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会との協力体制の構築 ・利用者の増加や事業の多様化に伴い、スペースの手狭感が増しています。 ・常駐するボランティアスタッフの確保(後継者の確保) ・自主財源の確保 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>第4回ふれあい広場夏祭り</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>子ども達によるよさこい呉楽</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>クリスマス会(広場有志によるハンドベル演奏)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>みんなで昼食(カレーライス)</p> </div> </div>				




番号	22	団体名	三条地区まちづくり委員会	代表者	山上 文恵
事業名	八畳岩登山(登山道整備, 登山)			事業費	約60,000円 (整備費, 保険等)
事業の目的	<p>地域の裏山にあって、かつて地域の人達が慣れ親しんでいた「八畳岩」への登山道が、人の手が入らないようになってから荒れ果てていました。 6年ほど前からまちづくり委員会では、消防団の協力を得て、八畳岩までの登山道を整備し、参加者を募って春に八畳岩までの登山を行っています。 みんなで登る八畳岩は、地域のすばらしさの再発見と地域住民の絆づくりに貢献しています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成28年4月10日(日) 午前10時(集合)～午後1時(下山) ・参加者 20名 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・登山道整備事業 毎年、登山前に時間をかけて登山道を整備。(消防団も協力) ・八畳岩登山 八畳岩に登り、みんなで昼食を食べた。(消防団も協力) <p>【集合】 両城小学校校庭に集合 → 保険申込(記入) → 準備運動 【登山】 八畳岩に向けて登山 【山頂】 八畳岩で記念撮影, 山頂から自分たちの住むまちを眺望 【ゲーム】 今回は、八畳岩周辺で宝探しゲームを行いました 【下山】 足元に気を付けながら下山</p>				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会内の「階段のまち」部会 ・まちづくり委員会内にまちづくり計画に掲げる各種事業を実施するための部会を設置し、部会長を中心に事業を実施しています。 ・八畳岩登山は、地域内の良さ(お宝)を再発見し、それを維持、保存するとともに、広く住民に周知し、自分たちの住む地域に対する愛着を深める事業を展開しています。 				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・登山道整備箇所が多く全体の整備には時間がかかっていましたが、年々環境が整い、落葉除去程度で済むようになりました。 ・整備機材や材料の運搬が大変でした。 ・事前整備をしなかったルートで下山し、難儀でした。 				
活動状況	 <p style="text-align: center;">八畳岩で記念撮影</p>				



番号	23	団体名	川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区盆踊り大会			事業費	約600,000円
事業の目的	<p>川原石地区では、かつて地域の伝統文化であった「川原石踊り」を平成22年に46年ぶりに復活させ、その伝統文化を引き継ごうと盆踊り大会で踊り継ぐ取組をおこなっています。</p> <p>また、地域の「面識社会」実現の手法として、うちわによる抽選会や民生委員・消防団等の地域団体がかつての夜店を演出し、かき氷やポップコーン、スーパーボールすくい等を企画・実行し、一人でも多くの地域住民の参加を促すことで、絆づくりを図るよう工夫を凝らしています。</p> <p>こうして各世代・各団体が役割分担をして事前準備・後片付けを行うことや行事を継続することで、地域ぐるみで、この伝統文化継承に取り組んでいます。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日時 平成28年8月14日(日) 午後6時～午後8時40分 ・ 場所 川原石マリンパーク ・ 内容 盆踊り(川原石音頭, 呉踊り, 炭坑節) うちわくじを使ったお楽しみ大抽選会 かき氷, ポップコーン, 風船ヨーヨーつり, スーパーボールすくいなどの夜店の開店 消防団による防災ビデオの上映 ・ 参加者数 地域住民約700名参加 				
この事業を企画・実施した人	川原石地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「住民の絆づくり」・「世代間交流」と「地域文化の継承」を目指し、まちづくり委員会や自治会連合会を中心に川原石地区各団体が参加・実施し、オール川原石で取り組む大イベントに成長しました。				
苦勞した点	地域に「川原石踊り」を踊れる人が年々高齢化し少なくなるなか、日赤川原石分団を中心に習得し、現在はその人たちが先生となって7・8月の毎土曜日に伝承会を開催しています。同時に太鼓の練習や継承も行っていますが、踊りも太鼓のリズムも独特で習得が一朝一夕にはいかず、繰り返しの練習が必要であると感じています。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>2016/08/13 10:48</p> <p>地域団体が集まって準備をしました</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>2016/08/14 18:48</p> <p>消防団による防災ビデオの上映</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>2016/08/14 20:09</p> <p>提灯の明かりの下みんなで楽しみました</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>2016/08/14 18:32</p> <p>盆踊り(川原石踊り)</p> </div> </div>				

番号	24	団体名	川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区合同防災訓練			事業費	約100,000円
事業の目的	<p>川原石地区では、その地形の特性から、土砂災害発生の大危険性が大きいと考え、例年、土砂災害に備える活動に取り組んでいます。</p> <p>今年度も、大雨による土砂災害を想定し、身を守るために必要な知識や技術を習得するとともに、避難所での支援活動や土のう作成、救急、初期消火、通報など幅広い防災活動の体験を通じて、災害に備える心構えを養うべく訓練を実施しました。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日時：平成28年8月28日(日) 午前9時～9時30分:避難訓練等 午前9時30分～11時30分:防災訓練 ・ 場所：二川まちづくりセンター及びグラウンド ・ 内容：(1) 避難・誘導訓練, 情報収集訓練, 避難所運営訓練 (2) 防災訓練 ①土のう作成・積みあげ訓練 ②初期消火訓練 ③ロープ結索・担架作成訓練 ④応急救護・AED取扱訓練 ⑤通報訓練 ⑥煙中体験訓練 ⑦防災展示コーナー ⑧炊き出し訓練 ⑨消防車両展示・キッズコーナー(防火衣試着) ・ 参加者数：地域住民約300人が参加 ・ まちづくりパートナー協定：まちづくり委員会では、平成25年に住民の絆づくりと安全・安心な地域を目指して、地元スーパー藤三と地域のまちづくりと災害時の協力と支援のための協定を締結しました。 				
この事業を企画・実施した人	川原石地区まちづくり委員会と川原石地区自主防災会が中心となり、消防局予防課、西消防署及び消防団湾岸分団の指導により実施しました。				
苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の災害に即した防災の理論と実践を学ぶ訓練にするため、どのような内容にするかを綿密に話し合ったこと。 ・ 参加者に「いざというとき正しく素早い行動で命を守り、周囲の人と協力してどのように災害を未然に防ぐか」を自分の身近な課題として、分かりやすく伝えられるような訓練にすること。 				
活動状況	 <p>土のう作成・積みあげ訓練</p>		 <p>初期消火訓練</p>		
	 <p>ロープ結索・担架作成訓練</p>		 <p>応急救護・AED取扱訓練</p>		



番号	25	団体名	川原石地区社会福祉協議会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区敬老会			事業費	約500,000円
事業の目的	<p>川原石地区では、川原石地区まちづくり計画書にある「各種催し等を総合的に推進できる体制づくりに努める」とともに「世代間交流の場の創出に努める」を目標に、各団体をはじめとした協働の輪を少しずつ広げながら、敬老者に少しでも喜んでいただける敬老会が開催できるよう努めています。</p> <p>今年度も、地元の団体やグループ、幼稚園、小中学校、公共施設などが協力したことにより、地域全体の団結力が高まり、体制づくりにも役立っています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成28年9月19日(月・祝) 9時30分～12時20分 ※前日準備:13時～, 当日準備:8時～ ・場所 二川まちづくりセンター2階ホール ・敬老会招待者 840名(うち, 米寿者:26名) ・来場者数 380名(うち, 敬老会招待者:170名) ・内容 式典 ①開会のことば ②国歌斉唱 ③物故者黙祷 ④主催者代表あいさつ ⑤来賓祝辞および来賓紹介 ⑥児童代表あいさつ ⑦祝電披露 ⑧米寿者記念品贈呈 ⑨閉会のことば <p>余興(アトラクション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①呉警察署「特殊詐欺防止について」 ②「琴三絃講座」発表 ③「両城中学校音楽部」演奏 ④「わくわくkids(二川児童館)」発表 ⑤「民謡講座」発表 ⑥ハーモニカ「口琴倶楽部 大和」発表 ⑦「大正琴講座」発表 ⑧お楽しみ抽選会 ⑨「聖慈幼稚園園児」踊りと歌 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会とまちづくり委員会を中心とした地元各団体が協力して実施 ※地元の幼稚園や小中学校, 警察署, 二川まちづくりセンター・児童館なども全面協力 				
苦労した点	<p>単独地区社協の開催のため派手な行事はできないが、各団体やグループ、幼稚園、小中学校などが協力し、手作り地元開催ならではの敬老会を行うことができました。</p> <p>また、祝う者(地域子どもやおとなの人々)も祝われる者(招待されたお年寄り)も、どちらも笑顔で本当に楽しそうで、目標の一つである「世代間交流」が十分できました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>2016/09/19 09:48</p> <p>児童代表あいさつ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>2016/09/19 11:32</p> <p>「大正琴講座」発表</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>2016/09/19 11:44</p> <p>お楽しみ抽選会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>2016/09/19 12:08</p> <p>「聖慈幼稚園園児」踊りと歌</p> </div> </div>				

番号	26	団体名	中央地域成人式実行委員会	代表者	中塩 幸一 (平成28年度)
事業名	中央地域成人式 (第2, 第3, 第4, 第5, 第6, 中央, 第8, 三条, 川原石の各地区および自衛隊合同)			事業費	1,016,017円
事業の目的	<p>今年で8年目となる中央地域と海上自衛隊の合同成人式。 本庁管内は9つの自治会連合会と海上自衛隊呉海曹会が合同で実行委員会を立ち上げ、新成人が生まれ育った地域の方々(祝う人)と新成人(祝われる人)の「顔と顔の見える」「より心の通った」ものに移行・発展させていくため、地域協働課や文化振興課などの行政も一緒になって協働という形をとりながら開催しています。</p>				
事業概要	<p>◇日時 平成29年1月9日(月・祝) 午前11時～午後1時 ◇場所 くれ絆ホール, くれ協働センター及び中央公園噴水前広場 ◇内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式典(新成人による司会進行, 新成人2名によるはたちの誓い) ・新成人によるはたちの大抽選会(成人リーダー企画進行) ・はたちの同窓会(なつかしい友達や恩師を囲んでの同窓会) ・記念撮影スポット ・はたちの誓いメッセージボード(成人リーダー企画) ・地域の贈りもの(各地区と自衛隊からの食べ物などのおもてなし) ・各地区からのボランティア(受付, 模擬店の出店) ・着付け教室による「着付け110番」ボランティア(5名参加) ・市立呉高等学校生徒によるボランティア(地域ブース・全体運営補助 41名) ・市職員によるボランティア(地域ブース・全体運営補助 新入職員を含む 23名) <p>◇新成人出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央地域 311名(対象者396名の 78.5% ..※11/末) ・海上自衛隊 15名(対象者137名の 10.9% ..※ ") ・計(全体) 326名(対象者533名の 61.2% ..※ ") 				
この事業を企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・中央地域成人式実行委員会(メンバーは中央地域の9つの自治会連合会会長, 海上自衛隊呉海曹会会長及び事務局(呉市地域協働課, 文化振興課)) ・成人リーダー(各地区・自衛隊からの新成人代表) 				
苦勞した点	<p>本年度初めて会場を絆ホールと中央公園にし、地域の贈りものブースを公園噴水前に設置したが、一段低くなっているうえに降りる階段が両端にしかないので、ブースへの人の流れがうまくいかなかった。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>式典(主催者挨拶)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>はたちの誓いメッセージボード</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>記念撮影スポット</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>地域の贈りものブース(餅つき)</p> </div> </div>				

番号	27	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	尾茂田 孝信
事業名	第26回 詩歌創作大会			事業費	約105千円
事業の目的	郷土に伝わる古歌「よし浦のさと」(藤原為時(紫式部の父)が詠んだ歌)の碑が町民グラウンド公園内に建設されています。これを地区の文化財として大切に守り伝えるとともに、小・中学生による詩歌創作大会を歌碑周辺において開催し、青少年・児童の情操教育並びに、文化の向上を目標としています。				
事業概要	<p>1 事業内容 詩歌創作とお茶席(抹茶)体験 実施年月日:平成28年5月7日(土)</p> <p>(1)児童及び生徒による短歌づくり 吉浦の自然にふれ、感じたままを5, 7, 5, 7, 7の言葉で表現する。 →後日、審査員会にて優秀作を選び、表彰する。</p> <p>(2)お茶席 お茶の先生の指導のもと、お茶席を体験。抹茶と饅頭で楽しく過ごす。</p> <p>2 参加者数 吉浦小, 吉浦中の児童及び生徒 約100名 保護者, 運営スタッフ等 約120名 合計 約220名</p>				
この事業を企画・実施した人	詩歌創作大会実行委員会(吉浦地区の民児協ほか7団体で構成)				
苦勞した点	<p>(1)雨天時は、まちづくりセンターに会場を変更し、実施する予定にしていますが、毎年天気状況に気を使います。</p> <p>(2)小学校では高学年で短歌を学習することもあり、低学年にとって創作は難しいことかもしれませんが、子供らしく、見たまま、感じたままを素直に表現するように、また、中学生には「吉浦」という言葉ではなく、「吉浦」とわかる言葉や語句等での表現に努めるよう指導しています。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <h2>古歌「よし浦のさと」</h2> <p>藤原為時 作</p> <p>「かくまでに、思はざりしに、来てみれば いと住みやすき、よし浦のさと」</p> <p>* 吉浦の吉は、豊臣秀吉が名付けたとの いわれがあります。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;">開会式</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;">お茶席</p> </div> </div>				

番号	28	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	尾茂田 孝信
事業名	第11回 吉浦地区防災訓練			事業費	約100千円
事業の目的	吉浦地区全体で防災活動の機運を高め、楽しみながら消火活動や避難の模擬体験をし、さらなる地域の防災意識の高揚を図ることを目的として、平成18年度から継続して訓練を実施しております。				
事業概要	<p>日時 平成28年10月16日(日) 午前10時～12時 ※準備は午前7時30分～</p> <p>場所 吉浦小学校</p> <p>内容 (1) 第1部(避難・誘導訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所(吉浦各地区から吉浦小学校へ徒歩での避難開始)《地区住民約200名》(吉浦小学校へ避難者を誘導)《自治会長, 民生・児童委員》 <p>(2) 第2部(実地訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 初期消火訓練(消火器による消火訓練) イ 避難訓練(災害時の非常持ち出し品の訓練) ウ 応急救護訓練(重傷者への応急処置, AED使用方法の講習) エ 防災講話 <p>(3) 第3部(給食・給水訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉浦女性会による炊き出し(むすび, みそ汁等) ・民生・児童委員による災害備蓄食品(缶詰おでん, 缶詰マフィン)の配布, 試食 				
この事業を企画・実施した人	平成18年度に、吉浦地区自治会連合会が消防庁の安心安全ステーション整備事業のモデル地区に選ばれ、これを機に吉浦地区全体で防災活動の機運を高めていくために、西消防署や地元消防団の御指導をいただきながら、吉浦女性会、民生・児童委員協議会をはじめとする各種団体の協力のもと事業を始めました。				
苦勞した点	炊き出しの迅速性を高めるためにカセットコンロを導入しましたが、参加者の高齢化に伴い、機器の運搬等に時間と手間がかかります。若い世代の運営スタッフ等への積極的な参加が求められています。				
活動状況	<div style="text-align: center;">  <p>消火器による初期消火訓練</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>応急救護訓練</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>炊き出し訓練(味噌汁配布)</p> </div> </div>				

番号	29	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	尾茂田 孝信
事業名	よし浦まちづくり発見隊 お好み焼き再発見			事業費	約72千円
事業の目的	吉浦町においては、絆づくりは人づくりと考え、人材の育成研修をまちづくりの重要推進テーマと考えています。そのため、この事業を、「よし浦まちづくり発見隊」と名付け、25年度から取り組みを行っているものです。その目的は、ふるさとよし浦区れの良さの再発見及びくれ市外の優れたまちづくりの良いところを自ら実地に調査研究することにより、吉浦まちづくり委員会の委員等において、今後の地域力向上「発展」に繋がる人材発見「育成」の推進を図る(よし浦まちづくり発見隊事業実施要綱第1条)ものです。				
事業概要	<p>まちづくり委員会で、お好み焼きソースの製造会社へ視察研修に行きました。</p> <p>日時 平成29年1月26日(木) 10時00分～</p> <p>場所 オタフクソース(株)ほか</p> <p>内容 参加人員 計21名(委員13名, 委員外町内在住者8名)</p> <p>学んだ点 広島人のソウルフード再発見 →昔からお好み焼き店の多い吉浦町の特色あるまちづくりの振興への検討</p>				
この事業を企画・実施した人	吉浦まちづくり委員会(協力:オタフクソース(株))				
苦勞した点	今回の研修で、「お好み焼き」が吉浦町にとっての生活文化であり、住民の交流拠点となっていることを参加者が改めて認識した。しかし、高齢化が進む吉浦町で、特色あるまちづくりへ繋げていくにはどうしたらよいか、(具体的な方策は)難問である。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>研修の様子(オタフクソース(株))</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>工場見学</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>お好み焼館 「Wood Egg」</p> </div>				

番号	30	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	前山 薫
事業名	第20回 警固屋さくら祭			事業費	658,921円
事業の目的	警固屋地区における地域まちづくりのシンボリックイベントとして、地元住民を中心に自立した運営を進めることにより、地域住民のまちづくりへの参画及び地域内外の交流の促進を図ることを目的として実施しております。				
事業概要	<p>日時:平成28年4月3日(日) 10:00 ~ 14:00</p> <p>場所:警固屋まちづくりセンター駐車場</p> <p>内容:①イベントの部</p> <p>【ステージ】</p> <p>出演団体:日新製鋼シルバーサウンズ, 警固屋みらい保育園, 消防団はしが隊, 鍋保育所, 警固屋小学校, 鍋ひよっこ踊り同好会, 県民踊 レイフラワーオハナ警固屋, 鍋よっしゃこい踊同好会</p> <p>【子ども関連】</p> <p>さくら茶屋(警固屋中学校生徒による野点)</p> <p>②売店の部</p> <p>地元団体など計12の飲食ブース及び物販ブースを出店</p> <p>③フリーマーケットの部</p> <p>計20のマーケット出店</p> <p>④コーナーの部</p> <p>餅つき(消防団), マツダ車展示(呉郷心会), 健康管理(警固屋地区運推), 花の苗無料配布</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会内に設置されている企画部会(部会員14名, オブザーバー1名)が、イベントの企画立案から実施までを担当。この他にも、自治会や女性会, 民生委員協議会など地元団体のメンバーが協働し設営から運営, 撤去までを行いイベントを盛り上げました。				
苦勞した点	雨天が心配される天候でありましたが、前日から体育館にシートを貼り雨天対策も準備いたしました。毎年天候の変わりやすい季節の開催となるので、今後も雨天対策はしっかりと力を入れてまいります。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>消防団はしが隊演技</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>開会式の様子 ステージには日新製鋼シルバーサウンズ</p> </div> </div>				

番号	31	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	前山 薫
事業名	子ども避難体験事業			事業費	148,133円
事業の目的	【避難所での宿泊などを通じた防災訓練の推進と地元住民の連携促進】 被災地でのボランティア体験の話を聞いたり避難所での宿泊を行うことで、災害時における対応法を学んでもらうとともに、地域住民との連携・親睦を深めることを目的として実施しております。				
事業概要	日時:平成28年7月23日(土) 14:00 ~ 翌24日(日) 9:00 場所:警固屋まちづくりセンター(ホール)・体育館 など 参加者数:45人(未就学児2人・小学生25人・中学生9人・保護者9人) 内容 ○夕食 非常食を試食 ○朝食 ダンボールオーブンを作成しピザトーストづくり ○避難所設営 ※体育館にダンボール等で休息・就寝スペースを設営 ○被災地でのボランティア体験の講話【協力:呉市職員3名】 ○自由時間 (映画鑑賞) ○健康づくり朝会「健康くれ体操」【協力:運推協】 清掃				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会の構成団体である警固屋小学校PTAが主体となって企画立案し、当日はまち協理事や警固屋地区運推協さんの協力をいただいて実施しました。				
苦勞した点	警固屋小学校PTAの方が積極的に動いて運営してくれたため、終始PTA主導で事業を進めることができました。 大きな苦勞はありませんでしたが、今回はダンボールオーブンを初日に作成し、翌日の朝食でピザトーストを焼いて皆でおいしくいただきました。参加者数が思ったより伸びなかった点が今後の検討課題と思われます。				
活動状況	 <p>ダンボールオーブンづくり</p>		 <p>ダンボール使用した避難所設営</p>		
	 <p>ボランティア体験の講話</p>		 <p>非常食の試食</p>		

番号	32	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	前山 薫
事業名	地域貢献人材発掘育成事業			事業費	11,788円
事業の目的	警固屋地区のイベントなどへの参加を通じ、地域まちづくりに貢献してくれる新たな人材の発掘・育成を図ることを目的として実施しております。				
事業概要	<p>日時:平成28年9月17日(土) 8時:30分 ~ 9時:30分(宇佐神社) 平成28年10月8日(土) 8時:30分 ~ 9時:30分(貴船神社)</p> <p>場所:(宇佐神社)警固屋4丁目 宇佐神社境内及び近辺 (貴船神社)警固屋8丁目 貴船神社境内及び近辺</p> <p>参加者数:(宇佐神社)小学生22名,中学生21名,教員10名,自治会役員等30名 (貴船神社)小学生6名,中学生4名,教員7名,自治会役員等20名</p> <p>内容:行事に興味を持ってもらうため,秋祭り前の幟立て等を行う際に準備風景を見ながら小中学校の児童生徒にも清掃活動に参加してもらう。</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会理事役員の方が企画し,この他にも,警固屋小中学校,自治会などに協力していただきました。				
苦労した点	学校行事では無く地域行事として任意参加であるため,どの程度の参加協力が得られるか不安でしたが,多くの方が参加してくれて有意義な事業になりました。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>宇佐神社 清掃活動</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>貴船神社 清掃活動</p> </div> </div>				

番号	33	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	まちづくり若者提案事業			事業費	450千円
事業の目的	<p>阿賀のまちづくりに関心を持っている若い人たちを募集し、若者の発想により提案されたまちづくり事業を実施する。 このことにより、地域づくり・まちづくりに関心を持つ若者の発掘と波及効果により若い世代の人たちにまちづくりに興味・関心を持ってもらう。</p>				
事業概要	<p>メンバー募集(随時)、会議の開催(平均月2回程度) 現在、メンバーは呉高専の学生を中心に社会人を含め約20名</p> <p>メンバーの自由な発想で阿賀を元気にする方策を話し合い、事業を企画し提案する。協議会にてプレゼンテーションを行い、承認を受けたうえで事業を実施する。</p>				
この事業を企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	仕事や学業などそれぞれの事情があり、会議に全員がそろうことは難しかった。				
活動状況	<p>毎月定期的集まり、会議を開きイベント等を企画・運営している。</p> <p>27年度冬に「食べて・学んで・阿賀さんぽ」を企画・実施した。阿賀の住民を対象に参加者を募り、実際に阿賀の古い町並みを歩きながら参加者をガイドし、まちを歩いた。活動を通して阿賀町の歴史・文化・産業を知るきっかけを作ることができた。</p> <p>28年度冬に「1日限りの阿賀学校in原小学校」を実施した。阿賀の住民を対象に参加者を募り、イベントを通して阿賀町の魅力を再発見してもらった。若者提案事業の若者たちだけではなく原小学校の児童にもイベントの企画・運営に参加してもらったことで、子どもたちの郷土愛の醸成にも寄与した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「食べて学んで阿賀さんぽ」平成27年12月5日</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「1日限りの阿賀学校in原小学校」平成28年12月17日</p>  </div>				



番号	34	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	あがまち銘板事業			事業費	180千円
事業の目的	<p>阿賀まちづくり推進協議会では阿賀の旧町名にまつわる歴史や伝統などを遺していくため、「まちしるべ」石柱設置事業を実施した。</p> <p>阿賀には、地名のほかにも隠れた歴史的な名所・旧蹟がありますが、その場所や由来を示す標識などはほとんど設置されていない。</p> <p>そこで、由来や伝承などを書いた銘板を設置し、地域の歴史的資源を知ってもらうとともに、郷土への関心を高めていこうとするもの。</p>				
事業概要	<p>アクリル板で銘板を作成し、地域に銘板を設置していく。</p> <p>○場所の選定： 文章の作成：阿賀歴史文化研究会 ○デザイン： 呉工業高等専門学校 ○銘板作成： 呉工業高等専門学校(アクリル板をレーザー加工) ○設置： 阿賀歴史文化研究会、地域の自治会・住民の皆さん</p> <p>現在、銘板の設置場所の候補として80カ所を選定しており、うち約30カ所について銘板へ記載する文章を具体的に検討している。25年度は6箇所、26年度は3箇所、27年度は3箇所の計12箇所に設置した。なお、28年度は6箇所設置予定としている。</p>				
この事業を企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	内容や設置場所について阿賀歴史文化研究会のメンバーで何度も話し合いを重ね、設置にあたっては地元自治会の人たちと一緒に設置した。				
活動状況	<p>研究会・地元自治会のみなさん</p> <p>支柱に銘板を設置</p> <p>みんなで設置</p> <p>最初の銘板</p> <p>銘板により再認識</p>				





番号	35	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	今昔子どもふれあい大会			事業費	580千円
事業の目的	<p>阿賀のみんなが集い参加して盛り上がっていただける町民の祭りを開催するもの。 阿賀地区では昭和40年頃から女性会・老連・子ども会が合同で「今昔子ども創作大会」を開催してきた。平成23年度から、この大会を阿賀町全体の祭りにするため、阿賀まちづくり推進協議会の主催とし阿賀の地域団体全てが参加して「今昔子どもふれあい大会」として開催している。</p>				
事業概要	<p>今の子どもと昔の子どもが集い体験交流を深める事業として『今昔子どもふれあい大会』を実施。 阿賀まちづくり推進協議会の各団体、アカデミア参加学校、地元企業の協力によりイベントや屋台、ステージアトラクションなどを実施した。 【内容】 ○イベント プラバンづくり、マスコットづくり、書道体験、お茶いっぷく、アートバルーン、紙ひこうき、豆つかみ競争、紙ずもう、竹細工、折り紙、飲酒運転体験メガネ、交通安全グッズ配布ほか ○屋台 焼きそば、うどん、お好み焼き、綿菓子、ポップコーン、中華おこわ、カレーライス、くじびき、ジュースほか ○ステージ 吹奏楽演奏(市立呉高等学校)、バンド演奏(広島文化学園大学ほか)、よさこいソーラン(阿賀中学校・YAMATOくれびと)</p>				
この事業を企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦勞した点	参加団体が多いため、事前の連絡調整の徹底が必要であった。				
活動状況					

番号	36	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第43回広子ども祭			事業費	1,300千円
事業の目的	広地区の子どもたちの健全な育成を願って地域の大人と子どもが一体となって開催する伝統行事。				
事業概要	<p>【日時】 平成28年5月8日（日）11:00～16:00</p> <p>【場所】 広公園，白岳小学校</p> <p>【内容】 ①交通安全おみこしパレード（広商店街～広公園） ②広公園会場／ 夢ふうせん，遊び広場，呉市市民協働センターPRコーナー ③白岳小学校会場／ 消防コーナー，リサイクル・エコロジー学習コーナー</p>				
この事業を企画・実施した人	主催：広まちづくり推進協議会 共催：広地区社会福祉協議会，呉市赤十字奉仕団広分団 主管：広子ども祭実行委員会，広子ども会連合会 ※その他，協力・協賛団体あり				
苦勞した点	関係団体との連絡調整				
活動状況	<p>来場者数 約2,500人</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>交通安全おみこしパレード</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>夢ふうせん</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>手作りおみこし</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>開会式</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>消防コーナー</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>遊び広場</p> </div> </div>				





番号	37	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第68回広地区教育祭			事業費	2,900千円
事業の目的	<p>広村の先人が遺した旧広村公会堂前（現・広小学校）にある「教育第一」の石碑の精神を受け継ぎ、昭和24年から毎年開催。「学ぶ・創る・楽しむ・夢がひろがる」をスローガンに、世代を問わず、文化行事からスポーツまで地域を挙げて行う伝統行事。</p>				
事業概要	<p>11月のおよそ1か月間をかけて、作品展示や舞台発表、文化講演会、教育功労者表彰式、交流広場などを開催。また、関連事業として、音楽祭、合唱祭、歴史講演会といった特色ある文化行事やスポーツ大会を開催している。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>主催：広まちづくり推進協議会 共催：広地区社会福祉協議会、呉市赤十字奉仕団広分団 主管：広地区教育祭実行委員会ほか ※イベントごとに実行委員会を設立 後援：呉市、呉市教育委員会 ※その他、協力・協賛団体あり</p>				
苦勞した点	<p>関係団体との連絡調整、参加者（団体）の事前準備</p>				
活動状況	<p>期間中の延来場者数 約14,000人</p> <p>■第6回広地区音楽祭 11/6（日） 広地区中学・高校・大学の吹奏楽部と社会人バンドが集う音楽イベント。地域の一体感の創出と技術のレベルアップを目的に、定着したイベントになっています。</p>  <p>■教育功労者表彰式 11/23（祝・水） 広地区の教育文化の向上に寄与した個人・団体を表彰する式典。今年は個人10名と1団体を表彰しました。</p>  <p>■文化講演会 11/23（祝・水） 毎年、著名人による文化講演会を開催。今年は気象予報士の勝丸恭子さんを招いて「天気と天気予報のヒミツ」と題して開催しました。</p>  <p>■第5回広地区合唱祭 11/27（日） 広地区のコーラスグループの交流、夢や希望を与えるイベントとして文化の向上に寄与している。</p>  <p>■その他、秋の文化祭や児童・生徒の作品展、講座・サークル活動の発表、高校生による大書揮毫、歴史講演会「愛ひろ心」、交流広場、市民活動メッセ、健康コーナーなど、期間中はたくさんの関連行事を開催しています。</p>				



番号	38	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第13回広地区クリーン活動			事業費	90千円
事業の目的	小・中学校を中心とした年末のクリーン活動を地域が一体となって実施することで、世代間交流を促進し、まちの環境美化意識を啓発する。				
事業概要	<p>【日時】 平成28年12月7日（水）13:00～16:00</p> <p>【場所】 広地区小学校，中学校（集合・解散場所）</p> <p>【内容】 学校区ごとに実施する清掃活動。各児童・生徒をはじめ地元市民団体も参加し、一緒に清掃活動に取り組むことで、学校区域内の明るい環境を整備するとともに、地域のつながりを持つことで、登下校等の安心と安全につながっている。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>広まちづくり推進協議会・広地区小中学校（合同事業）</p> <p>協力：地区自治会等（合同清掃），広警察署（安全パトロール），環境業務課（ゴミ収集）</p>				
苦勞した点	関係団体との連絡調整				
活動状況	     				

番号	39	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	仁方地区自主防災会合同避難訓練			事業費	約70,000円
事業の目的	仁方地区の地域防災避難行動に焦点を当てた実践的な訓練を通じて、一人一人が安全・確実に避難するための避難通路、避難場所、一時避難場所などを確認しながら、防災意識の高揚を図ることを目的とし、11自治会が連携し仁方地区自主防災会合同避難訓練を実施しました。				
事業概要	日時 平成28年5月28日(土) 9時30分～11時30分 場所 仁方小学校 (命かがやく広場・体育館) 内容 ①各地区訓練場所の区域内に配置した消防団車両及び消防団員により「津波、地震、避難指示の発令」の広報を実施 ②自治会・自主防災会組織、消防局(東消防署)、消防団が連携協力して、避難の呼びかけや避難誘導を行いながら、各地区指定場所に集合し、仁方小学校に避難 ③仁方小学校に到着後、消防局の指導により各自治会単位で煙中体験を実施 ④応急救護訓練(東消防署仁方出張所) 「救急蘇生訓練」「搬送訓練」 ⑤防災講話(呉市総務部危機管理課) 「土砂災害における危機管理」				
この事業を企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会と同地区自主防災会が中心となり企画しました。				
苦労した点	災害時における各地区の実情に即した訓練内容の検討				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>煙中体験</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>防災講話</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>救急蘇生訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>搬送訓練</p> </div> </div>				





番号	40	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	仁方夏まつり			事業費	約920,000円
事業の目的	仁方地区のまちづくり計画では「仁方のことをもっと知り、もっと好きになり、より良い町にするために」をスローガンに「人と人との繋がりのあるまちにづくり」を目指しています。そのまちづくりの一環として仁方夏まつりを開催しました。				
事業概要	<p>日時 平成28年7月30日(土) 午後5時～午後8時 場所 仁方中学校(グラウンド) 内容 第1部</p> <p>①仁方中学校吹奏楽部演奏 ②呉よっしゃこい踊り(仁方地区子ども会連合会) ③仁方中学校 ダンス ④ビンゴゲーム(仁方地区子ども会連合会)</p> <p>第2部</p> <p>①和太鼓(仁方中学校卒業生・教職員) ②盆踊り ③お楽しみ抽選会</p> <p>屋台村 生ビール・ビール・ジュース・カレーライス・ポテトフライ・たこ焼き・鶏の唐揚げ・お茶・焼き鳥・枝豆・炊き込みご飯・焼きそば・フランクフルト・ポップコーン・コロケ・干しエビ・アイスもなか・かき氷・綿菓子・抹茶&お菓子・バザー・射的・スーパー</p> <p>役割分担 仁方町まちづくり推進協議会幹事等が仁方夏まつりの実行委員会の責任者になって企画及び実施した。</p>				
この事業を企画・実施した人	仁方まちづくり推進協議会委員等による、仁方夏まつりの実行委員が中心となって、各種地域団体の協力により、イベント、屋台のブース設営等を行いました。				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・仁方夏まつりを盛り上げていくため各自治会ごとの練習や全体練習 ・第1部の出演団体の時間配分調整 ・会場準備及び後片付けの役割分担等の調整 				
活動状況					
	第1部イベント風景				
					
	第2部イベント風景				

番号	41	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	「春が楽しみ！チューリップ」事業			事業費	約310,000円
事業の目的	チューリップを育てて、まちに彩りと潤いを与え、人と人がつながることによって、魅力ある「仁方のまちづくり」を推進するものです。				
事業概要	<p>各自治会、小・中学校、幼稚園、保育所、福祉施設等にチューリップの球根、培養土等を配付し、プランター等に植えて、人が集まり、多くの人から見える場所で育てていくものです(入学式頃に仁方町の各所で一斉にチューリップが開花する。)</p> <p>球根、培養土の配付 9月23日(金)～9月24日(土) 各自治会、小・中学校、幼稚園、保育所、福祉施設等に球根及び培養土を配付</p> <p>球根の植付け時期 10月上旬～11月上旬の間にプランターや公園等に植付け</p> <p>配付球根数 5,800個(赤、白、黄、ピンクの4色) *配付球根のほか昨年度育てた球根も活用しました。</p>				
この事業を企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会が中心となって、農業振興センター、小・中学校、幼稚園、保育所、福祉施設等の協力により実施しました。				
苦労した点	この事業を継続するための予算の確保(広島県みどり推進機構の助成を活用)				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>中筋自治会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>大東自治会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>棧橋自治会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>戸田自治会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>仁方小学校</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>皆実保育所</p> </div> </div>				

番号	42	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	大段忠彦
事業名	地域交流懇談会(仁方の福祉を考える会)			事業費	約10,000円
事業の目的	「福祉の担い手づくり(住みたくなる「仁方」をつくろう)」をテーマに「呉市における介護予防・日常生活支援総合事業」について学習し、参加者全員で意見交換等を行い、住みよい仁方のまちづくりの取組の一助とするものです。				
事業概要	<p>日 時 平成29年2月4日(土) 10時~12時</p> <p>場 所 仁方まちづくりセンター3階ホール</p> <p>テーマ 福祉の担い手づくり(住みたくなる「仁方」をつくろう)</p> <p>内 容</p> <p>①開会式</p> <p>②基調講演「呉市における介護予防・日常生活支援総合事業について」 講師 呉市介護保険課 主幹 新谷 秀隆 さん</p> <p>③テーマに基づく講義及びグループ討議 講師 呉市社会福祉協議会 地域福祉課長 田中 秀樹 さん</p> <p>④まとめ</p> <p>⑥閉会式</p>				
この事業を企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会役員が中心となって企画し、各種団体、呉市介護保険課及び呉市社会福祉協議会の協力により実施しました。				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体、呉市介護保険課及び呉市社会福祉協議会との調整 ・グループ討議を行う際の進行 				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>基調講演</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>講義</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>グループ討議</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>質疑応答</p> </div> </div>				

番号	43	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	「宮原ホタルの里」			事業費	
事業の目的	<p>地域内を流れる神原川のきれいな水を利用し、神原公園の一部と隣接する森と湿地をホタルの育成地として整備し、お年寄りから子どもまで身近なところでホタルを観賞できるようにする。また、この地で育ちやすいアジサイを植栽し、宮原地区の花として、アジサイいっぱいのもちにする。</p>				
事業概要	<p>平成22年に呉市の「まち普請事業」や平成24年に第一生命と都市緑化機構の「緑の環境デザイン賞」を受賞し、交付金や助成金で神原公園に隣接する湿地(約600㎡)の整備や神原公園内の小川とホタルの幼虫・メダカなど小生物のすみかとなる池の築造やあじさいの植樹を行ってきた。</p> <p>多くの町民ボランティア及び地元の小中学生の協力を得ながら、平成25年3月末に「宮原ホタルの里」は完成した。毎年、地域住、小中学校と連携し行事や清掃等を実施している。平成28年度は、下記のとおり行事等を実施した。</p> <p>平成28年 6月 8日 クリーン活動 6月11日 ホタルまつり 7月28日 あじさいのせん定 10月25日 清掃 平成29年 3月 清掃</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>宮原地区まちづくり推進委員会が中心に実施した。 また、整備工事に当たっては、自治会連合会、女性連合会、地元企業などの団体に協力があった。</p>				
苦勞した点	<p>毎年、「まつり」か「観賞」かホタルまつりのあり方が議論になる。 今年度は、6月の大雨により育成池に土石が流入したため、ホタルの数が激減し、今後のホタルの育成について苦慮している。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ホタルまつり1</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ホタルまつり2</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>クリーン活動</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>あじさいのせん定</p> </div> </div>				




番号	44	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	宮原地区合同防災訓練			事業費	
事業の目的	宮原地区の全自治会が合同で、「自分の命は自分で守る」をテーマとした実践的な訓練を行うことにより、防災意識の高揚を図る。 防災訓練を通じて、自助、共助のまちづくりを推進する。				
事業概要	<p>今回で5回目となった訓練では、避難所体験を中心に実施した。 日時:平成28年9月25日(日)9:00~12:00 場所:宮原中学校</p> <p>内容: 第1部(避難訓練) ・各町から危険箇所を点検しながら中学校へ集合 第2部(避難所開設訓練) ・防災について(呉工業高等専門学校 加納誠二先生) ・防災に必要な知識(呉市危機管理課) ・避難所体験(ダンボールベッド, スリッパ, マスクなどの作成 呉工業高等専門学校 山岡俊一先生) ・避難所運営ゲーム(呉市消防局予防課) ・炊き出し(炊飯袋、無洗米を使用 宮原女性連合会) ・クロスロード(YES・NOクイズ 呉工業高等専門学校 加納誠二先生)</p>				
この事業を企画・実施した人	宮原地区まちづくり推進委員会, 呉工業高等専門学校, 呉市, 呉市消防局				
苦勞した点	新たな取り組み(避難所開設訓練)を実施したため、中学生を含め参加者が多く、各訓練への振り分けが大変であった。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>防災について(加納誠二先生)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ダンボールベッドの作成</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>避難所運営ゲーム(HUG)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>炊き出し訓練</p> </div> </div>				

番号	45	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	「噫戦艦大和之塔」美装化事業			事業費	995,004円
事業の目的	平成28年4月に呉市を含む旧軍港4市で日本遺産の認定を受けたこともあり、歴史の見える丘公園への訪問者も増加していることから特に経年劣化の大きい「噫戦艦大和之塔」を地域住民で美装化し、観光客などを気持ちよく迎えることができるよう整備する。				
事業概要	<p>歴史の見える丘公園内にある「噫戦艦大和之塔」については、宮原地区住民にとってシンボリックな施設でありながら、経年劣化により艦橋部分の塗装が剥がれているなど公園内の美観を阻害している状況にあった。この施設を住民自らの手により、改修（住民は主にペンキを塗るなど）の作業を行った。それにより施設に対する親しみが生まれるとともに、地域の活性化への思いが深まった。</p> <p>事業期間 平成28年11月14日～12月9日</p>				
この事業を企画・実施した人	宮原地区まちづくり推進委員会				
苦勞した点	寒さと細かい作業に苦勞した。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">作業(ペンキ塗り)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 改修中 完成 </div>				

番号	46	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	鯉のぼりの吹き流し			事業費	100,000円
事業の目的	<p>鯉のぼりの吹き流しは地元ボランティアにより実施しています。竹林から竹を切り出したり、鯉のぼりを取り付けて掲げるなど、地域の方が協力して作業することで、地域交流の機会を創出しています。</p> <p>また、近年ではあまり見られなくなった鯉のぼりを掲げることにより、呉ポートピアパークに来園する多数の親子連れの語らいの場を設けるとともに日本の伝統文化に触れる機会も提供しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成28年4月14日(木)～5月31日(火)</p> <p>場所 呉ポートピアパーク 海沿いの遊歩道</p> <p>内容 各自治会から2～3名の参加を得て呉ポートピアパークに18本の鯉のぼりを立てる。約1か月後に各自治会の協力を得て鯉のぼりを撤去する。 (竹竿は各自治会から2～3名の参加を得て10月頃に山から切り出し、4月まで天応中学校に保管し、4月に呉ポートピアパークに移動させる。)</p> <p>※平成13年度から始まったこの事業は、毎年80匹程度の鯉のぼりを掲げており、今では呉市の春の風物詩となっています。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり委員会のメンバーである各自治会から2～3名の参加を得て、竹林からの竹の切り出し、鯉のぼりの取り付け、撤去に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>海の側に立てているため、強風に伴い海に落ちたり、破れたりするなど損傷が激しい。定期的に鯉のぼりを購入しないと事業の継続が難しくなる。(以前から不要になった鯉のぼりを募集しているが、提供者が激減している。)また、風雨のため鯉のぼりが竹竿に巻き付いたり、緩んだりすることが多々あるため、頻繁に点検する必要がある。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>今や地域の風物詩として定着しています</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>海沿いの遊歩道に18本の竹竿を立てます</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>竹竿は地域の竹林から切り出します</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>地域の皆さんのおかげです</p> </div> </div>				

番号	47	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	天応町納涼盆踊り大会			事業費	350,000円
事業の目的	<p>天応町は、春は「鯉のぼりの吹き流し」や冬には「笹酒まつりともちつき大会」という代表的なイベントがあるが、夏はこれといったイベントがなかったため平成23年に地域の皆さんの熱意で復活した「天応町納涼盆踊り大会」を平成28年も呉ポートピアパークで実施しました。今回も約75発の花火を打ち上げました。天応町民やお盆に帰省された方など1,000人もの大勢の参加者で賑わい、盆踊りを通して町民同士のふれあいが深まり、地域の連帯感や絆を再確認するとともに、盆踊りを次世代に引き継いでいく文化の継承に寄与しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成28年8月13日(土)午後5時～午後9時 場所 呉ポートピアパーク イベント広場 内容 ・盆踊り(呉音頭・地音頭・炭坑節) ・模擬店(焼き鳥, フランクフルト, フライドポテト, 枝豆, かき氷, ラムネ, ジュース, 生ビール, 缶ビールなど) ・花火(75発)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>天応町納涼盆踊り大会実行委員会が中心となって企画立案するとともに、まちづくり委員会のメンバーである自治会, 女性会, 体育協会や呉ポートピアパーク友の会, 大浜子ども会などが協働して各ブースの設営, 運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>盆踊りを継続的に実施し、盛り上げていくために各自治会から実行委員を2名出してもらったり、盆踊りを次世代に継承するため、子どもに参加してもらえよう、小学校で盆踊りの練習に取り組んでもらったりと工夫を重ねた。また、当日だけ参加した実行委員のなかには、参画意識が薄く積極的に動いてもらえない方も見受けられた。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>盆踊り</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>盆踊りに参加する地域住民</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>模擬店の様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>盆踊りを彩る花火</p> </div> </div>				





番号	48	団体名	天応地区社会福祉協議会	代表者	友井 輝道
事業名	「笹酒まつり」と「もちつき大会」			事業費	400,000円
事業の目的	<p>笹酒まつりともちつき大会は、昭和54年からはじまった天応を代表する恒例行事です。青竹に含まれているクロロフィルは、制ガン効果があるといわれており、天応町民と来場される皆さんに笹酒を飲んでもらい、この一年の無病息災を祈るとともに、新成人の成長を祝い、今後の活躍を祈念することを目的として開催しました。</p>				
事業概要	<p>日時 平成29年1月9日(祝)午前10時30分～正午頃 ※成人式は午前10時～午前10時30分 場所 呉ポートピアパーク イベント広場, 外 内容 神事(来賓, 主催者及び新成人代表者による玉串奉奠等) 式典(挨拶) ソーラン踊り 振舞酒 もちつき, ぜんざい配膳 懇親会(卒業時の恩師, 来賓, 地域の方々) ※お酒を青竹で温めて, 晴れ着姿の新成人が来場者約2,000人に振る舞い, さらに地域の皆さんと一緒にもちつきをして, 新成人の門出を祝いました。 ※笹酒を飲んで1年の無病息災を願うこのイベントは今回で39回目を数え, 今や天応地区の年始の風物詩となっています。</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>天応地区社会福祉協議会の四役会議において企画立案するとともに、天応地区の各種団体の代表者(各会場の責任者)で会議を開催し、役割分担を再確認し、神事会場、もちつき会場及び懇親会場などの設営や運営を行いました。</p>				
苦勞した点	<p>苦勞した点ではないが、この伝統行事を継続していくためには、竹の確保及び竹細工などの技術を若い人に受け継いでいく必要がある。(マンパワーの確保)</p>				
活動状況	 <p>山から切り出した竹を猪口等に加工</p>		 <p>ソーラン踊り</p>		
	 <p>新成人への振舞酒</p>		 <p>もちつき大会</p>		





番号	49	団体名	昭和地区まちづくり協議会	代表者	神田 晃典
事業名	第11回 昭和地区ふれあいフェスティバル			事業費	1,086千円
事業の目的	<p>地域内のまちづくり団体などが集い、それぞれの持ち味を生かした手作りのイベントを実施、交流を深め、連携を図る。</p> <p>【テーマ】 みんなでつくり みんな楽しい 手作りイベント～「おいしい」「たのしい」「なつかしい」がいっぱい～</p>				
事業概要	<p>「おいしい」 郷土料理「八寸」試食会、昭和の駄菓子屋、ポン菓子、ポップコーン、カレーライス、餅とぜんざい、呉特支コーヒー など</p> <p>「なつかしい」 折紙・あやとり・おはじき、竹細工づくり、親子で藤井清水を歌い昔の遊びを楽しもう など</p> <p>「たのしい」 昭和北中学校吹奏楽部、ステージ発表、ヒーローショー、福祉施設作品展示と販売、写生大会、スナッグゴルフ、もちつき体験、ヨーヨー釣りとバルーンアート、スタンプラリー、初期消火体験 など</p> <p>延べ参加人数 約 11,300人</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会が中心となり、地域の諸団体の代表で組織した「ふれあいフェスティバル実行委員会」が、企画段階からイベント実施までを行った。				
苦勞した点	<p>主催者側は、フェスティバルを「それぞれの日頃の活動を住民にPRする場」にしてほしいと、各団体に訴えるが、なかなか浸透せず、活動内容とはかけ離れた内容で出展する団体が目立ち苦慮した。</p> <p>また、当日は駐車場がないことから近隣店舗などに駐車する参加者が目立ち、店舗から苦情が多かった。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>▲昭和中吹奏楽部</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>▲ポン菓子の配布(交通安全)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>▲ステージ発表(やげやげファミリーミュージック)</p> </div> </div>				

番号	50	団体名	昭和地区まちづくり協議会	代表者	神田 晃典
事業名	平成29年 昭和地区「成人の日」記念式典・記念行事			事業費	780千円
事業の目的	昭和地区をあげて、地区在住の新成人を祝福・激励するために式典・行事を開催。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・司会進行(呉昭和高校) ・国歌・呉市歌斉唱(呉市藤井清水の会) ・記念品(協力;株式会社 ますやみそ, 広島中央ヤクルト販売, 株式会社 白王, 社会福祉法人 きぼう) ・音楽の贈り物(昭和中学校) ・郷土料理「八寸」試食会(昭和西女性会) ・ぜんざいのおもてなし(昭和東女性会) ・アンケートの実施(第19・21区民児協) <p>新成人出席者 321人(対象の91%)</p>				
この事業を企画・実施した人	【主催】昭和地区自治会連合会と昭和地区まちづくり協議会, 呉市, 呉市教育委員会 昭和西女性会, 昭和東女性会, 第19区・21区民生委員児童委員協議会, 呉市藤井清水の会, 呉市消防団昭和分団, 昭和中学校吹奏楽部, 呉昭和高校放送部の協力で実施した。				
苦勞した点	毎年, 新成人がもらってうれしい記念品の選考に苦慮する。 記念品については, 昨年度から, 地域の企業にも協力をいただいております, 新に1社の協力を得ることができ, 企業からも成人者からも喜ばれた。				
活動状況	 <p>▲記念品贈呈</p>  <p>▲二十歳の誓い</p>				


番号	51	団体名	昭和地区まちづくり協議会	代表者	神田 晃典
事業名	昭和地区呉市合併60周年記念式典			事業費	610千円
事業の目的	昭和31年に昭和村と呉市が合併してから60年を記念し、地域の諸団体が合併を祝うイベントを手づくりで実施した。				
事業概要	<p>「おいしい」 地元農産物の直販, カレーライス, 豚汁, 焼きそば, 呉特支コーヒー, お菓子の家 など</p> <p>「なつかしい」 農機具の展示, 亥の子まつり, 昭和地区の歴史と史跡紹介 など</p> <p>「たのしい」 昭和中吹奏楽部, 昭和中央小コーラス, 昭和西小ソーランよさこい, 大声コンテスト, 昭和幼稚園鼓笛隊 など</p> <p>延べ参加人数 約 3,000人</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会が中心となり、地域の諸団体の代表で組織した「合併60周年記念式典実行委員会」が、企画段階からイベント実施までを行った。				
苦勞した点	会場の昭和東小学校が、昭和地区の市街地から離れており、公共交通機関の利用が不便という声があり、臨時バスを運行した。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲地元農産物の直売</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲昭和幼稚園鼓笛隊</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>▲亥の子まつり</p> </div>				

番号	52	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	郷原町民運動会			事業費	220,000円
事業の目的	核家族化が進んだ中、スポーツ・レクリエーションをとおして、地域住民の世代を超えた交流を行い、絆を深めるとともに、イベントを計画・実施する中で、まちづくりリーダーの育成と人材発掘を図る。				
事業概要	<p>日時 平成28年4月17日(日)※雨天中止 時間 8時30分～12時30分 場所 郷原小学校グラウンド 内容 プログラムは福祉施設入所者や保育所園児等が参加するオープン競技と、12自治会が赤白に分かれての対抗戦で構成。 競技種目:徒競争, スプーンリレー, 親子2人3脚, うずまきリレー, たまいれ, フォークダンス, 大綱引き, ムカデ競争, パン食い競争, ホールイン1, 対抗リレー</p>				
この事業を企画・実施した人	町民運動会実行委員会(まちづくり推進委員と郷原地区体育協会)で組織)				
苦勞した点	少子高齢化の地域格差が広がりつつあるため、選手集めに苦勞する状況にある。対策として、従来5地区対抗で実地していた競技を赤白対抗戦に変更し開催する2回目の運動会であったが、降雨予報を元に中止を決定した。				
活動状況	 <p>降雨予報による中止決定後の集合写真 (この時点では晴れてます)</p>  <p>前年度より会議を重ねてきました</p>  <p>作業打合せの様子</p>				

番号	53	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	ふれあい・いきいきサロン			事業費	50,000
事業の目的	高齢者が家庭や地域の中で孤立しないように、地域の人たちが定期的にまちづくりセンターに集い、高齢者が健康でいきいきとした生活が送れるよう地域全体で見守り支援する。				
事業概要	<p>平成21年度より70歳以上の高齢者を対象に月に1回開催。</p> <p>時 間 10時～14時</p> <p>内 容 午前中は、サロンの歌、今月の歌、お誕生会、健康体操、各種趣味講座等を実施。昼食をはさんで午後からはステージイベント等を楽しむ。</p> <p>特 徴 地元の小・中学校や保育所と連携し、世代間交流を定期的にも実施。医療機関や警察・交通安全協会、消防署等の協力により講演会や生活安全指導を実施</p> <p>本年度は、地域にある障害者施設と交流を図り、施設は作った商品の販売を行った。</p> <p>年々参加者が増加し、現在150人(うち協力員50人)が参加する市内最大のサロンとなる。</p>				
この事業を企画・実施した人	サロン運営委員会(地元自治連、民児協、女性会、運動推進の運営委員と各自治会から推薦された協力員の代表で組織)				
苦勞した点	高齢者のサロン参加(外出支援)を地域全体に広げるため、各自治会組織の協力員の組織化と地域リーダーの養成。 年度終りに翌年一年間の活動計画を運営会議により決定しているが、参加者を飽きさせない内容になるよう知恵を出し合っている。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>恒例の中学校全校生徒参加の大合唱</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>民児協担当で健康体操で長生き</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>お誕生日会では花束を贈呈</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>地元施設の協力でアイスの予約販売</p> </div> </div>				

番号	54	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	城山「火の用心」文字塗替			事業費	120,000
事業の目的	地域の環境美化と絆づくりを目的に、地域のシンボルである城山の壁面に書かれた「火の用心」の文字を30年ぶりに塗り替えた。				
事業概要	<p>城山(じょうやま、正式名は岩山(いわやま))は、地区内に広がる田園や住宅はもとより、遠くの瀬戸内海まで見渡せる標高419.5mの岩の山で、古くは室町時代、ここに山城があったことが名前の由来と伝えられ、郷原小・中学校の校歌にもうたわれるなど、地域のシンボルとして、住民に親しまれている。山の頂上付近には斜度45度の大岩の壁面に縦18mに及ぶ「火の用心」の文字がある。</p> <p>この文字は、縦18mにも及んでおり、昭和14年に防火意識啓発のため、地元警防団により書かれたもので、昭和40年頃、地元有志により、さらに昭和62年に「郷原町を考える会」により、塗り替えられてきたが、薄くなってきたため、約30年ぶりに、再び塗り替えを行った。</p> <p>塗り替えには、中学生から70歳代の地域住民約80名が参加し、その様子はNHKテレビや中国新聞にも放映・掲載される等、話題となった。</p>				
この事業を企画・実施した人	郷原町まちづくり委員会の有志及び小中学校関係者・中学生				
苦勞した点	女性や中学生も参加していることから、特に安全面や、衛生面(トイレ等)の準備に苦勞した。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>塗り終えた後</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>まちづくり委員他集合(NHK取材班同行)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>命綱のみでこの傾斜を塗っています</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>塗料は小分けして皆で登山</p> </div> </div>				

番号	55	団体名	(一社)下蒲刈まちづくり協議会	代表者	渡辺 哲宏
事業名	第4回とびしマーレ～柑橘の海～			事業費	約97万円
事業の目的	とびしま海道、下蒲刈で他では食べることができないここだけの「食」、ここだけの「遊び」や「音楽」、お歳暮で箱売りできる「旬の柑橘」の提供をテーマに、地元産品及び下蒲刈のPR充実を目的に、地域を活性化するイベント・とびしマーレを実施した。				
事業概要	平成28年12月11日(日)大津泊庭園でにおいて、ドームの中でとんだり跳ねたりして遊べる遊具「ふわふわカープ坊や」、柑橘・野菜のほか猪骨ラーメン・石窯アヒージョ・じゃこ天など地元産品の販売店など20ブースで賑わう会場に約2,000人が来場し大変賑わった。				
この事業を企画・実施した人	地域おこし協力隊員が発案し、まちづくり協議会が実行委員会を設置して実施した。				
苦勞した点	春に行った第3回とびしマーレ(平成28年4月10日大津泊庭園で実施、来場者約1,000人)の2倍以上の出店があり、大幅な来場者数の増加が予想されるため、会場設営(特に強風時を想定したテントの固定)や道路が渋滞しないような駐車場誘導・警備などに苦勞した。				
活動状況	<p>～とびしマーレとは～ 「とびしま海道」+イタリア語で海の「mare」、多くの人が「集ま～れ」を結んだ造語。 『地域に今までなかった事を提案。地元・地域外・子どもも大人も集まって、笑顔で交流を楽しめるような空間を提供したい。』という想いを込めた、地域おこし協力隊が企画するイベント。</p>    				

番号	56	団体名	呉市川尻町まちづくり委員会	代表者	隠村誠二
事業名	いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAPウォーク			事業費	16,000円
事業の目的	平成25年度に『“かわじり”の新しいマップを作ろう！！プロジェクト』で作成した『いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAP』を全戸配布するだけでなく、川尻町運動普及推進員会と協働し、MAPのコースを歩く『かわじりMAPウォーク』を開催していく(年2回程度)				
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>6月12日(日) 歴史と潮の香り漂うコースを歩こう 【参加者…89名】</p> <p>10月9日(日) 川尻おどろきロードコースを歩こう 【参加者…84名】</p>				
この事業を企画・実施した人	呉市川尻町まちづくり委員会, 川尻地区自治会連合会, 川尻町運動普及推進員会, 川尻保健出張所, 川尻中学校, 参加者の方々				
苦勞した点	関係団体との連絡調整				
活動状況					

番号	57	団体名	川尻町新成人を祝う会実行委員会	代表者	原田邦子
事業名	川尻町新成人を祝う会			事業費	約340,000円
事業の目的	<p>新成人が企画・運営を担い始めて5年目となる「実行委員会」の活動は、「地域全体で祝う」新成人を祝う会の開催に向けて、中学生から地域の方々まで世代を超えて開催を支えている。</p> <p>【実行委員会の主な活動内容】 ①懇親会の企画立案 ②当日運営(新成人受付・式典司会・懇親会の司会運営)</p>				
事業概要	【実行委員会】 平成28年8月から活動開始		【当日】		
	①8/30(火) 顔合わせ・昨年の様子・企画アイデア 対象者確認	②11/7(月) 企画絞り込み・役割分担 12/15(木) 中学生ボランティアへ説明 1/6(金) 準備	日時	平成29年1月8日(日)10:00~13:00 打合せ・準備・リハ9:30~ 後片付け~14:00	
			場所	呉市川尻まちづくりセンター	
			内容	受付(新成人受付・来賓受付) 記念撮影(平台片付け・式典準備)	
				式典(司会・はたちの誓い) 懇親会(司会・運営) 抽選会・恩師エピソード披露	
※太字は実行委員会・中学生ボランティア担当					
この事業を企画・実施した人	実行委員会(成人者7人・次年度成人者4人・保護者5人・地区社協(主催者)1人・川尻支所(サポート役)2人)・川尻町女性会・広交通安全協会母の会川尻支部・警察・川尻中学校・川尻町地区社会福祉協議会				
苦勞した点	<p>①実行委員の募集・・・地区広報誌「川尻かがやき」やホームページにて実行委員の募集を行っている。同時に声掛けをした当時の中学校生徒会役員が中心となり活動している状況。平成25年度から導入した中学生ボランティアの取り組みが、将来につながることを期待している。</p> <p>②次年度成人者の参加・・・次年度・当該年度・前年度の3学年の成人世代が関わることを目標として活動している。今年度も、会議や当日運営に次年度成人者4人が加わり、受付や式典準備などの裏方に携わったことで、来年度の実行委員会活動のきっかけをつくることができた。</p> <p>③中学生ボランティア・・・中学2年生の生徒会役員4名が参加。裏方として来賓受付や式典準備、片付けなど積極的に活動した。</p>				
活動状況					
	実行委員による新成人受付		来賓受付や舞台転換も経験(中学生ボランティア)		
					
集合写真		式典司会		懇親会の目玉 抽選会	

番号	58	団体名	川尻町地区社会福祉協議会	代表者	隠村誠二
事業名	川尻町敬老会			事業費	1,276,000円
事業の目的	<p>川尻地区まちづくり計画(平成21年8月呉市川尻町まちづくり委員会発行)の「高齢者の長寿を地域全体で祝う」を目標に、各種団体との協働の幅を少しずつ増やしなが、敬老者に喜んでいただける敬老会を開催できるよう活動している。</p> <p>【H20年度～】敬老会打合せ開催・リハーサル協力依頼(主催者のみ)</p> <p>【H21年度～】敬老会打合せ開催・リハーサル協力依頼(運営協力団体・主催者)</p> <p>なお、当初から司会、交通整理や運営協力(主催者含む)との協働も継続中。</p>				
事業概要	<p>【敬老会打合せ】平成28年8月24日(水)18時～19時(参加者:9人) 各協力団体の役割分担の確認と当日の流れを確認。</p> <p>【リハーサル・準備】平成28年9月15日(木)・16日(金) リハーサルでは、司会を担当する朗読ボランティア ハートフルが、アトラクション出演者と打合せをしながら、直前までシナリオを練ったり、裏方を担当する主催者は舞台転換の確認を行い、本番に備えた。</p> <p>【敬老会当日】平成28年9月19日(月・祝) 9時～12時(敬老者:1,416人) 場 所 呉市川尻まちづくりセンター(ペイノロホール) 内 容 【第1部】式典(司会:朗読ボランティア ハートフル) 【第2部】アトラクション(司会:朗読ボランティア ハートフル) ①合唱(川尻光幼稚園) ②太鼓演奏(川尻保育所) ③合唱(川尻小学校4年生) ④神楽(伊賀和志神楽団「悪狐伝(あっこでん)」)</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>川尻町地区社会福祉協議会 【協力団体】ボランティアさざなみ、呉市第23区民生委員児童委員協議会、広交通安全協会 川尻支部、同母の会、川尻地区老人クラブ連合会 【アトラクション】川尻光幼稚園、川尻保育所、川尻小学校、伊賀和志神楽団 【司会】朗読ボランティア ハートフル</p>				
苦勞した点	<p>敬老者に喜んでいただくために、記念品やアトラクションの内容について3月～6月にかけて正副会長会議でアイデアを持ち寄り、協議した。 平成20年度から取り入れた「打合せ」や「リハーサルからの協力依頼」は継続していることで、定着しつつある。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>交通整理</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>受付</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>米寿表彰</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ご来場の方々</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>記念品配布</p> </div> </div>				





番号	59	団体名	川尻町元気まつり実行委員会	代表者	森川 泰博
事業名	かわじり元気まつり			事業費	2,512,000円
事業の目的	<p>川尻町元気まつり実行委員会主催 2000年に安芸灘大橋有料道路が開通したことをきっかけに、川尻町内外に「かわじり」をアピールして、川尻町の魅力をさらに向上させたり、活性化につなげるために始まった元気まつりは、毎年11月の第3日曜日の開催が定着し、毎年約5,000人で賑わう。 開催までに、実行委員会(3回)や企画部会(5回)、バザー部会を重ね、各種団体をはじめ多くの関係者が一丸となって準備を行う。中学生も前日の準備や当日運営にボランティアとして加わり、共に、まつりを支えている。</p>				
事業概要	<p>「みんなが集い みんなで創り みんなが楽しむ！」 日時 平成28年11月20日(日)9時～15時 場所 川尻グラウンド 【オープニング】野呂岩海太鼓(野呂岩海太鼓保存会) 【メインステージ】筆のパフォーマンス(広高校書道部)・野呂太鼓(川尻小学校6年生) かわちゅうプラス(川尻中学校吹奏楽部)・早見優ポップスライブ それ行けちびっこ応援太鼓(かわじり保育所)・農産物品評会・ギネスに挑戦!? かわじりモノ尻O×クイズ・ラッキーナンバーゲーム 等 【わくわくイベント】ミニSL・スカイビュー 【食の元気市】焼きいりこやイノシシの串焼きなど広域8町の特産品を楽しむ</p>				
この事業を企画・実施した人	川尻町元気まつり実行委員会・川尻町まちづくり委員会・川尻町地区社会福祉協議会・協賛企業				
苦勞した点	毎年、マンネリ化しないよう新企画を何にするか、それに伴う財源確保。前日に雨が降り予定どおりに準備が出来なかった。後片付けもシート等が乾かず、当日には片付かなかった。				
活動状況	    				

番号	60	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	2016おんどフェスティバル			事業費	2,750,000円
事業の目的	<p>自然に親しみながら、研修、体カづくり等を行うとともに町民相互のふれあいの場、文化、体育活動の中心として、幅広く活用する目的で“マリンふれあいの里大浦崎公園”(現在の名称は大浦崎スポーツセンター)が昭和60年度に完成しました。 この公園の完成を契機として、上記に掲げる当該公園の整備目的を達成するために当事業が開催されることとなり、今年度で31回目を数えております。</p>				
事業概要	<p>毎年、町内外から5,000人を超える来場者があり音戸町で一番大きなイベントです！ 日時：平成28年11月3日(祝) 9時30分～15時 場所：大浦崎スポーツセンター 内容：○ステージ企画 音戸清盛太鼓、高校生ダンスコンテスト、安芸ひろしま武将隊による演舞、ピエロのバルーンショー、クイズ大会、吹奏楽の演奏、お楽しみ抽選会、餅まき等 ○会場企画 21店舗による飲食物等の出店 消防車両展示・救助体験コーナー、白バイ等体験搭乗 音戸高校カヌー部によるカヌー体験教室 ゴリラのふわふわドーム チャレンジストラックアウト ウォーキング大会 ○中学校軟式野球交流戦</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の役員及び事務局が中心となって企画立案し、自治会、女性会、老人クラブ、民生児童委員、PTA、商工会等、各種団体(まちづくり協議会の構成員)の協力により、準備から運営、片付けまでを行い、地域協働で実施しています。 また、音戸高校ボランティアの協力も、会場内の清掃、出演、出店と大きな役割を担っています。</p>				
苦労した点	<p>・より多くの人に参加でき楽しんでもらうための企画、催し物の考案</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>音戸清盛太鼓</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>カヌー体験教室</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>会場の様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ゴリラのふわふわドーム</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ピエロのバルーンショー</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>高校生ダンスコンテスト</p> </div> </div>				





番号	61	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	トワイライトふれあいフェスタ			事業費	919,000円
事業の目的	<p>人口減少、特に少子高齢化の進展及び多岐にわたるレジャー施設等の進出により、音戸町において、子供と大人が楽しくふれあうことができる交流の場が減少しております。</p> <p>また、地域の核となる音戸市民センターは、新旧音戸大橋を背後に音戸の瀬戸を一望できる絶好のロケーションと広い前庭、ウッドデッキテラスを有する独特の建築構造となっております。</p> <p>このような負と正の現状を踏まえ、地域の皆さんとの協働により、交流と賑わいの場を創造する目的で、毎年1回、1,000人以上の来場者により実施しております。</p>				
事業概要	<p>海辺の潮風を受けながら、ビアガーデン風の出店、ステージでの催し物があります！</p> <p>日時：平成28年7月30日（土） 17時30分～20時</p> <p>場所：音戸市民センター（前庭・2階テラス）</p> <p>内容：○ステージ企画（簡易ステージ製作） 音戸清盛太鼓、キッズダンス、合唱、フラダンス、ジャズバンド</p> <p>○出店 生ビール、缶酎ハイ、お酒、清涼飲料水、お茶 フライドポテト、鶏の唐揚げ、タコ天、豚カツ、焼き肉、焼き鳥、焼きそば、焼きイカ 巻き寿司、炊き込みご飯 フランクフルト、綿菓子、ポップコーン、かき氷 スーパーボールすくい、ヨーヨー釣り</p>				
この事業を企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の役員及び事務局が中心となって企画立案し、自治会、女性会、老人クラブ、民生児童委員、PTA、商工会等、各種団体（まちづくり協議会の構成員）の協力により、準備から運営、片付けまでを行い、地域協働で実施しています。</p>				
苦労した点	<p>より多くの人が参加でき楽しんでもらうための企画、催し物の考案（新鮮なアイデア）</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ステージ企画</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>賑わいの様子</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>全体の様子</p> </div>				

番号	62	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝婚活部会	代表者	松村 慶介
事業名	第5回島コンin倉橋(広島県最南端で見つける恋)			事業費	430,000円
事業の目的	人口減少や少子高齢化の一因とされる未婚者の増加に歯止めをかけるために、地元の未婚男女に出会いの場を創出する。				
事業概要	<p>○日時:平成28年10月23日(日)9時~17時(呉合同庁舎前集合・解散)</p> <p>○場所:倉橋町桂濱神社・桂浜温泉館・シーサイド桂ヶ浜荘</p> <p>○募集対象:20歳から45歳までの独身(学生は除く) 男性は倉橋町又は江田島市在住か出身者,勤務している方,女性はフリー</p> <p>○参加者負担金:男性5,000円,女性3,000円</p> <p>○内容:男性27名・女性21名,計48名が桂濱神社での良縁祈願,1対1のトークタイム,バーベキュー,フリータイムを通じて交流し,9組のカップルが誕生した。</p> <p>○参加者居住地内訳 ・男性 倉橋町14名,江田島市8名,倉橋出身2名,江田島出身1名,江田島勤務者2名 ・女性 江田島市3名,呉市(倉橋町除く)7名,広島市6名,府中町2名,岡山県3名</p> <p>○参加者年代内訳 ・男性 20代6名,30代13名,40代8名 ・女性 20代11名,30代8名,40代2名</p> <p>◎昨年のカップリング者1組が結婚し,通算2組目の結婚成就者を誕生させることができた。</p>				
この事業を企画・実施した人	地元で農業・漁業・医療機関等に就業する若者が中心となって設立したお宝婚活部会と江田島市出会い支援イベント企画運営委員会委員が合同で企画・立案し,まちづくりサポーター,まち協委員,市職員が協働して開催した。				
苦勞した点	告白タイムの方法,女性の募集方法等				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1対1のトークタイム</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>桂浜での散策フリートーク</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>会場の様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>昼食は倉橋の新鮮な魚介類がたくさん</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>バーベキュー</p> </div> </div>				

番号	63	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会 お宝朝市部会	代表者	木戸 慶治
事業名	くらはし お宝朝市			事業費	90,000円
事業の目的	新鮮で良質な農水産物をはじめとする倉橋町の特産品を販売することで、地元の農業・漁業・商業の振興とともに倉橋町の活性化を図る。				
事業概要	<p>日時: 毎月最終日曜日 9時～11時まで 場所: 倉橋柱浜温泉館 万葉の里 内容: 地元特産品の販売及びお楽しみイベント (野菜・お宝トマト・いじみかん・鮮魚・ちりめん・牡蛎・豆腐・お花・無添加パン等) お楽しみイベント: 毎月 お買い物スタンプラリー 5月 ポン菓子 6月～8月 かき氷 10月～3月 焼き芋 11月 オープン7周年記念市(いじみかんの無料配布・みかん積み上げ大会) 12月 紅白餅の無料配布</p>				
この事業を企画・実施した人	倉橋産直部会, 倉橋島漁業協同組合, 倉橋西部漁業協同組合, 呉広域商工会女性部などに加盟している団体と地元の特産品販売店が中心となって企画し, 市職員, 市職員OBなどが協働実施しています。				
苦勞した点	雨天時の対応や広報の方法, 出店者やボランティアスタッフの確保等				
活動状況	 <p>スタンプラリー</p>		 <p>ポン菓子</p>		
	 <p>みかん積み上げ大会</p>		 <p>7周年記念市</p>		

番号	64	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会	代表者	中田 正志
事業名	こどもチャレンジ教室			事業費	130,000円
事業の目的	倉橋地区の子供たち(小中学生)の心身の発達のため、文化・スポーツの分野において体験教室を開催し、その技術を磨き、レベルアップを図る。				
事業概要	<p>1. スケート教室と施設見学 日 時 平成28年12月17日(土)9時から16時 場 所 ひろしんビッグウェーブ及び広島市中工場(ゴミ処理施設) 参加者 明德小4名・倉橋小3名 計7名 その他 広島県スケート連盟から講師を派遣していただき指導を受け、全員が滑れるようになった。</p> <p>2. ソフトテニス教室 日 時 平成29年1月29日(日)9時から15時 場 所 呉港高等学校テニスコート 参加者 倉橋中学校ソフトテニス部員16名 その他 呉港高等学校ソフトテニス部との合同練習を行い、指導・助言を受け、技術を磨き、レベルアップを図ることができた。</p>				
この事業を企画・実施した人	宝島くらはしまちづくり協議会, 明德小学校, 倉橋小学校, 倉橋中学校				
苦勞した点	文化・スポーツ等分野(種目)の決定と募集方法				
活動状況	 <p>スケート教室</p>		 <p>工場見学</p>		
			 <p>呉港高等学校との合同練習</p>		

番号	65	団体名	蒲刈町まちづくり協議会	代表者	会長 谷村 淨
事業名	第16回 かまがり恵みフェア			事業費	1,000,000円
事業の目的	蒲刈町の観光資源を広く紹介し観光客の誘致に努め、観光事業、各種産業の発展に寄与することを目的とする。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の浜の広場において町内外から特産品などの販売するブースを開設した。出店件数は16店舗。 ・「潮騒の館」「恵みの館」「輝きの館」の3館を廻りスタンプを集めメイン会場の県民の浜の抽選会場で抽選を行うと豪華賞品が当たるスタンプラリーを開催した。 ・イベントコーナーにおいては、蒲刈太鼓、舞踊、ピエロの愉快的なバルーンショーなどを披露した。また広場においてけん玉、駒廻し、凧揚げコーナーを実施した。 				
この事業を企画・実施した人	蒲刈町まちづくり協議会のメンバー				
苦勞した点					
活動状況	 <p>バルーンショー</p>		 <p>バルーンショー</p>		
	 <p>コマ廻し</p>		 <p>動物ふれあいコーナー</p>		

番号	66	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	会長 田中 敏弘
事業名	人材育成研修事業 「安浦たんと塾・先進地研修」			事業費	300,000円
事業の目的	<p>「まちづくりは人づくり！」をテーマに町内におけるリーダーの育成と地域の再発見を主に、フィールドワーク・先進地研修を開催する。</p> <p>まずは、自分が学び・知り・楽しむことで地域行事に参加し、少しずつ関心を持った方を協議会へ加入する目的である。</p> <p>安浦を大きく4つに分けて、文化・史跡等を巡る講座や特色あるまちづくりをしている先進地研修を通して人材育成を図る。</p>				
事業概要	<p>●平成26年11月高砂市との交流を開始し、12月22日には高砂市の紹介で「戦没した船と海員の資料館(神戸市中央区)」のスタッフ大井田孝さんがコンクリート船武智丸の視察・調査に来られました。</p> <p>●平成29年3月1日～2日で先進地視察研修を計画</p> <p>①「島根県邑南町」において「耕すシェフ」と呼ばれている地域おこし協力隊の活動と支援体制について研修する。</p> <p>②「島根県大田市」において「石見銀山ガイドの会」の取組と地域に対する思いを学ぶ。</p>				
この事業を企画・実施した人	まちづくり協議会の事業企画部と事務局が中心となって企画を行った。				
苦勞した点	視察先との日程調整				
活動状況	<p>●コンクリート船武智丸について説明及び現地調査</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>※28年度は武智丸に個人及び団体の視察研修要請が沢山ありました</p> <p>●まちづくり先進地研修予定先「島根県邑南町・大田市」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>邑南町 地域おこし協力隊の皆さん</p> <p>石見銀山ガイドの会</p> </div>				

番号	67	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	会長 田中 敏弘
事業名	後生に残す「まちしるべ石碑」事業			事業費	570,000円
事業の目的	安浦は、江戸時代から明治にかけて内海・三津口・野路・安登の4地区が合併を重ね、10ヶ村が一つの町になった歴史がある。それぞれの地域には古い地名や史跡・伝説・伝統行事等文化的な資源が多いが、現在忘れ去られようとしている。これらを石碑に刻み、後生に伝えるとともに、郷土の愛着と地名の由来や歴史・文化を知ってもらうことを目的とする。				
事業概要	平成24年度から事業開始し28年度、市迫・大谷二つの自治会館前に設置。石碑合計25本設置となる。引き続き石碑設置場所の町内ウォーキングマップを作成のため、実際に歩き距離等を実測した。 平成28年度末には町内ウォーキングマップ完成、主要場所に配布予定。				
この事業を企画・実施した人	先進地として「阿賀まちづくり協議会」へ研修に行き、当事業企画部会が実行する。まちづくり協議会の事業企画部(看板・マップ分科会)と事務局及び自治会長が中心となり企画を行った。				
苦勞した点	碑文の作成において、限られた文字数の中でいかに地域の特色等を伝えるか、町史などの文献調査や優先順位を決めて伝える文言をまとめる点に相当の時間を要し、メンバー間で入念な協議を重ねた。 設置場所の確保も困難な実情もあり、碑文は地区全体をとらえて碑文の文章を検討していく中で、バランスを考慮・調整していくことが最も苦勞した点であった。しかし、メンバーが学習・協議を重ねていくうちに、真に地区全体として伝え・残さなくてはならないものを再認識・自覚する場となっていたことは、人材育成の視点から意義深いものになった。 ウォーキングマップは手作り感を出すためとメンバー間で内容掲載の合意を得るために苦勞した。				
活動状況	 <p>市迫自治会館前</p>		 <p>大谷自治会館前</p>		
	 <p>ウォーキングコース調査</p>		 <p>手書きのウォーキングマップ</p>		

番号	68	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一	
事業名	ビューティフルアイランド祭り			事業費	1,673,410円	
事業の目的	<p>だれもが健康でいきいきと暮らすことのできる健康づくりや世代間交流を目的として、子供から高齢者まで気軽に参加できる「ウォーキング大会」を中心に開催する。 町外の方にも広く参加を呼びかけ、祭りに参加していただくことで豊浜町の良さ(島の香り・味・自然)のPRを行うことを目的とする。</p>					
事業概要	<p>子供から高齢者までが気楽に参加できる「ウォーキング大会」や「体力測定」のほか、各種団体の模擬店や特産品の販売、防災・防犯コーナーなどを設け行います。また、特設ステージ等では文化団体の成果発表や音楽グループ等の演奏が行われます。各種団体の協力のもと、6つの柱を組み合わせ笑顔あふれるイベントを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体力づくり(ウォーキング大会)参加者数165人です。 ○生活環境づくり(プランターコンテスト)参加者数16名です。 ○安全・安心づくり(防犯・防災コーナー)協力団体3団体です。 ○健康づくり(体力測定・健康チェック)参加者数101人です。 ○人づくり(イベント交流・露店)協力団体15団体です。 ○文化活動づくり(作品の展示)出店団体6団体です。 					
この事業を企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会					
苦勞した点	準備、片付けにたくさんの協力者が必要です。 天候しだいでは用意した材料などがむだになることです。					
活動状況	<p>体力づくり (ウォーキング大会)</p> 	<p>生活環境 づくり(プランター コンテスト)</p> 	<p>安全・安心 づくり(防犯・ 防災コー ナー)</p> 	<p>健康づく り(体力 測定・健 康チェッ ク)</p> 	<p>文化活動 づくり(作 品の展 示)</p> 	<p>人づく り(イベ ント交 流・露 店)</p> 

番号	69	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	伝統的料理の教室			事業費	51,334円
事業の目的	<p>高齢化の進行に伴い、冠婚葬祭等での料理も手作りすることが難しく、豊浜町の食材を使った伝統的な料理も作られなくなってきました。このため、豊浜町の伝統的な料理(食文化)が消えていくのではという危機感から、これらを記録し、後生に残すこととします。</p>				
事業概要	<p>豊浜町内の各地区に残る伝統的料理について、昨年度は「豊浜町の伝統的料理」の冊子を作成し、今年度は伝統的料理を伝えるため、豊浜中学校の2年生及び3年生を対象に伝統的料理の教室を開催します。</p> <p>○平成27年8月26日に伝統的料理の教室を開催 中学校3年生15名参加。 メニューは、たこ飯、ソーメン瓜の酢の物、漁師うどんです。</p> <p>○平成27年12月14日に伝統的料理教室を開催 中学校2年生18名参加。 メニューは、押し寿司、鯛ソーメン、しば餅です。</p>				
この事業を企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会のワーキンググループのメンバー				
苦労した点	学校の授業時間内で料理して、試食をしなければならないので時間配分に苦労した。また、季節によれば手に入れない素材があり料理がかぎられます。				
活動状況	<p>豊浜町伝統的料理の冊子 中学校3年生対象料理教室</p>  <p>中学校2年生対象料理教室</p> 				

番号	70	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	歩け歩けウォーキングコース 命名プロジェクト			事業費	50,944円
事業の目的	ウォーキングコースを認定し、町民の健康づくりや来町者へ豊浜町の魅力をPRするため、「とよはまウォーキングMAP」を作成していきます。 ビューティフルアイランド祭りや安芸灘とびしま海道ウォーキングなどの地域行事に合わせて配布し、豊浜町の魅力、新しい発見などを再確認していきます。				
事業概要	<p>現在は5コース認定して、「とよはまウォーキングMAP」1・2を作成しています。</p> <p>今年度は、豊浜町の大きな魅力のひとつに小野浦地区の路地があります。路地は狭く迷路のようになっています。とこどどころ袋小路になっている場所もあります。豊浜町内外の方に路地を歩いてもらい、地元では当たり前ですが、豊浜町の新しい発見ができるような小野浦迷路探検マップを作成する。</p> <p>○今年度は、小野浦迷路探検マップの下準備段階</p>				
この事業を企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会のワーキンググループのメンバー				
苦労した点	井戸や祠が多くあり地図に落とす作業です。				
活動状況	<p>マップの準備品</p>  				

番号	71	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	魔法のランプ事業			事業費	224,196円
事業の目的	豊浜町の子供たちに夢や希望を届けるため、プロの音楽の鑑賞、サッカー観戦及びスポーツ教室などを開いて指導を受けることで、スポーツや音楽に興味を持ってもらい、元気で希望にあふれる島っこを育てていく。				
事業概要	<p>豊浜町の子供たちは、プロの活躍を生で見たり、指導を受けることがありません。スポーツや音楽の素晴らしさに触れて興味を持ってもらい、プロの指導により技術の向上を図り、一段上の世界を体験してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テニス教室(平成27年7月22日(水)から24日(金)) 参加者数:中学生18名参加です。 ○サッカー観戦(平成27年11月22日(日)) 参加者数は、中学生他60名です。 ○サッカー教室(平成28年3月27日(日)) 参加者数は、小学生以下21名です。 ○きらきらコンサート(平成28年3月16日(水)) 参加者数は、中学生以下7名です 				
この事業を企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会, 豊浜まちづくりセンター				
苦勞した点	たくさんの方が参加できる時期及び指導員の都合などの調整です。				
活動状況	<p>テニス教室</p> 		<p>サッカー観戦</p> 		
	<p>サッカー教室</p> 		<p>きらきらコンサート</p> 		

番号	72	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	大道 洋三
事業名	第11回 豊町産業文化祭			事業費	450,000円(負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「にぎわいと活力ある「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、産業(果実品評会やバザー)と文化(舞踊、歌謡などの発表会)の祭りを実施する。				
事業概要	<p>日時:平成28年2月6日・7日 場所:安芸灘交流館(豊まちづくりセンター)</p> <p>①開会式での健康遊具の披露、太鼓演奏、もちまき ②産業部門 果実品評会、健康祭り、輪投げ大会、もちつき、米すくい、射的大会、ビンゴゲーム、大抽選会、焼ガキむきカキ・唐揚げ・うどん・たこ飯・寿司・いぎす豆腐・たこやき・やきそば・みかん味噌・みかん餅・別製アイス・クレープ・じゃこ天・礼文島海産物等販売。農業機械・人形・印鑑の展示販売。 ③文化部門 謡曲・フラダンス・箏曲・舞踊・カラオケ・ジャズダンス・バレエ・コーラスの発表会 「イリュージョンマジックWISH(ウイッシュ)ステージ」 絵画・押し花・写真・生け花・俳句・墨絵、豊小・豊浜中学校・ゆたか幼稚園作品展。</p>				
この事業を企画・実施した人	豊町まちづくり協議会、豊町地区社会福祉協議会、豊町産業文化祭実行委員会が主催であるが、特に、呉広域商工会青年部安芸灘支部豊地区の会員、文化協会の各種団体、豊市民センターが中心となって実施した。				
苦勞した点	会場の周辺が非常に狭く来訪者の駐車場の確保に苦慮した。 今年は、二日間とも晴天により、実行委員会、出展者・参加者の連携・協力により盛大に祭りを実施することができた。				
活動状況	 <p>開会式での餅まき大会</p>		 <p>果実品評会</p>		
	 <p>ホールでの発表会</p>		 <p>展示販売状況</p>		

番号	73	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満
事業名	第33回 豊町七夕納涼祭			事業費	2,400,000円(負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「にぎわいと活力ある「ゆたかまち」をつくらう」に基づいて、ステージイベントや花火大会を実施する。				
事業概要	<p>日時:平成28年8月6日(土) 18:00~21:00 場所:小長港フェリーターミナル前広場他 参加者数:約4,500名 内容: 「ダンス&フィットネススタジオG1」によるダンスショー 「HIT&RUN」バンドライブ 「南 一誠」ステージ 小長港の沖合いに台船を浮かべ、2,000発の海上花火大会を実施</p>				
この事業を企画・実施した人	豊町まちづくり協議会、豊町地区社会福祉協議会、豊町七夕納涼祭実行委員会が主催であるが、特に、呉広域商工会青年部安芸灘支部豊地区の会員や呉広域商工会豊支所が中心となって実施した。				
苦勞した点	<p>この大会は地元の商工会加盟店や各種団体・個人に協賛金として約150万円集めて実施している(残りはまちづくり協議会からの助成金)。そのための集金活動が非常に大変である。このイベントは、豊地区外からも来客されるので、下蒲刈・蒲刈・豊浜地区等の団体や個人にも協賛金をお願いしているが、なかなか協力を得るのが難しい。また、これら地区外からのお客様の駐車場確保は大きな課題となっている。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ステージイベント</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>花火大会</p> </div> </div>				

(参考) 地域まちづくり計画



人となりがふれあい
「にぎやかで、元気のあるまちづくり」

目次

- 1 基本情報
- 2 地区の概要
- 3 まちづくりの理念と目標
- 4 地域課題の把握
- 5 地域資源の活用
- 6 地域交流の促進
- 7 安心安全のまちづくり
- 8 環境美観の推進
- 9 地域振興の活用
- 10 地域交流の促進
- 11 安心安全のまちづくり
- 12 環境美観の推進
- 13 地域振興の活用

平成21年3月
第5地区まちづくり委員会



住みよく 元気で 楽しいまち
第5地区まちづくり委員会



呉市第4地区まちづくり計画
呉市第4地区まちづくり委員会



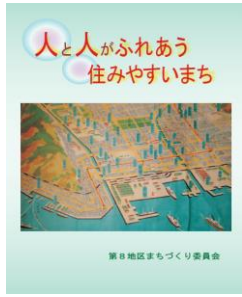
第5地区まちづくり委員会



第6地区まちづくり委員会



くれ中央地区まちづくり委員会



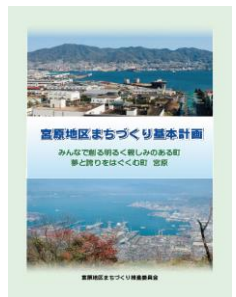
第8地区まちづくり委員会



両城・三条地区まちづくり委員会



川原石地区まちづくり委員会



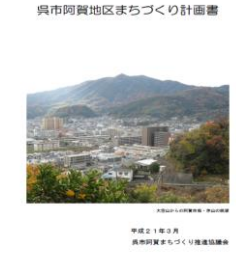
宮原地区まちづくり委員会



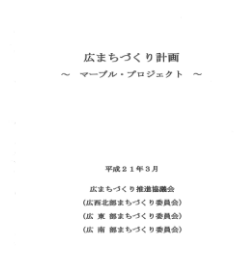
吉浦地区まちづくり委員会



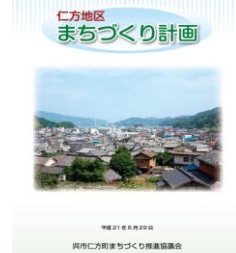
警固屋地区まちづくり協議会



呉市阿賀地区まちづくり協議会



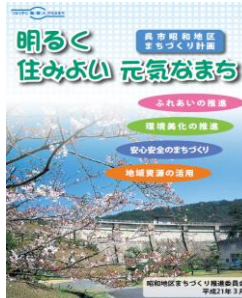
広まちづくり委員会



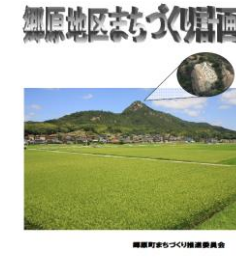
仁方地区まちづくり協議会



天応まちづくり委員会



明るく 住みよい 元気なまち
第21地区まちづくり協議会



畑原地区まちづくり協議会



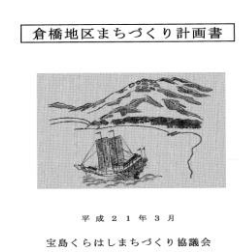
下蒲刈地区まちづくり協議会



川尻地区まちづくり協議会



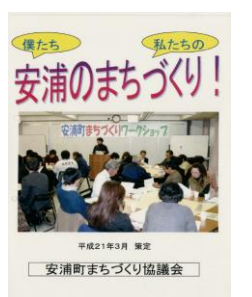
音戸町まちづくり協議会



倉橋地区まちづくり協議会



蒲刈町まちづくり協議会



安浦町まちづくり協議会



豊浜町まちづくり協議会



平成20年12月
豊町まちづくり協議会

地域の共有する夢（地域の将来像，地域課題の克服等）の実現に向け，おおむね5～10年間で取り組むべき地域の構想で，地域住民の総意に基づいて住民自身（まちづくり委員会）が策定したものです。この計画に基づき，地域自らが主体となったまちづくりが進められています。

ゆめづくり事例集2016

発行：平成29(2017)年2月

編集：呉市市民部地域協働課
各市民センター